

石狩市・厚田村・浜益村合併協議会
基本的事項に関する調査資料

平成 1 5 年 6 月

目 次

第1章	社会的背景	1
	(1) 3市村の概要と沿革	1
	(2) 3市村を取り巻く環境変化	5
第2章	地域の現況	10
1	位置・面積	10
2	人口・世帯数等	11
	(1) 人口・世帯数	11
	(2) 人口動態	17
	(3) 世帯状況	19
	(4) 通勤・通学状況	20
	(5) 産業別人口	25
3	人口の将来見通し	26
4	土地利用	28
	(1) 土地利用	28
	(2) 道路	30
5	産業	32
	(1) 農業	32
	(2) 林業	36
	(3) 水産業	37
	(4) 商業	42
	(5) 工業	43
	(6) 観光	44
	(7) 港湾物流特区、リサイクルポートの指定	49
6	都市基盤・生活環境	50
	(1) 水道	50
	(2) 下水道	51
	(3) ごみ処理	52
7	教育・文化	54
	(1) 幼稚園	54
	(2) 小学校	55
	(3) 中学校	56
	(4) 高等学校等	57
	(5) 生涯学習	58
8	福祉・医療	60
	(1) 保育園(所)	60
	(2) 国民健康保険	62
	(3) 国民年金	64
	(4) 病院	67
	(5) 福祉	68
9	行財政	70
	(1) 組織機構	70
	(2) 財政	78
	(3) 税制度、手数料	81
10	広域行政の状況	82
	(1) 広域圏組合	82
	(2) 一部事務組合	83

資料	人口の将来見通し	84
	(1) 人口	85
	(2) 世帯数	88
	(3) 就業者人口	89

第1章 社会的背景

(1) 3市村の概要と沿革

石狩市

石狩市は石狩川の河口の両岸に位置し、北海道の中心都市札幌市の北に隣接して国の重要港湾を有しています。

全道のさけ漁獲量の約5割を占める石狩13場所の元場所として栄え、明治35年親船町外9町と生振村をあわせて石狩町とし、花畔村・樽川村をあわせて花川村に、その後明治40年花川村を編入して1級町村制を施行しました。

なお昭和50年境界の一部を小樽市に編入、平成2年企業誘致推進のため、石狩湾新港地域の一部につき小樽市との間に境界変更がなされ、平成7年には懸案だった当別町との一部境界未定問題が解決しました。

昭和40年代後半から「花畔団地」の宅地造成がはじまり、札幌市のベッドタウンとして人口が増えはじめ、特に昭和50年から5年間ににおいては2倍以上という飛躍的な人口増加を示し、平成4年に5万人を突破し、平成8年9月1日には北海道では34番目の市制を施行しました。現在は、札幌圏のなかで石狩湾新港、住宅団地の開発を踏まえた快適な居住環境をもつ新しい近郊都市として発展が続いています。

厚田村

厚田村は、石狩平野の西北部に位置し、東西14km、南北29km、総面積292.83km²で、東は当別町、北部は浜益村、南部は石狩市に隣接し、西部は日本海に面しています。

道都、札幌市とは約46kmの距離にあり、国道231号で結ばれています。地勢は、海岸に沿って緩波状丘陵地帯を形成し、背面に大小の山岳が隆起して増毛山系に連なり、これを源とする大小の河川が日本海に注いでいます。南部は、丘陵地帯で平坦地も多く畑作が行われ、中央部及び東部の河川流域では稲作が行われています。

東部や北部の山岳地帯は国有林となっており、海岸に迫る急峻な山並みは暑寒別天売焼尻国立公園に含まれています。

気象は、大陸及び日本海流の影響を受け、晩秋から春にかけて強い北西風が吹き、積雪量は多いが、年間を通じては比較的温暖な地域となっています。

浜益村

浜益村は石狩支庁管内の最北端に位置し、日本海オロロンラインの国道231号により札幌市へ約80km、留萌市に約60km、国道451号で空知の中核都市滝川市へ約60kmの距離にあります。西部は日本海に面し、北部及び東部は暑寒別連峰を境にして増毛町と新十津川町に接し、南部は国有林に囲まれた山岳地帯で、当別町と厚田村に接しています。東西18km、南北36kmで、村の総面積は311.15km²です。総面積の約9割が林野で占められ平地に乏しく、日本海へ流れる各河川沿いに細長く低地が形成され、南北にわたって13の集落と耕地が散在しています。気候は、温暖で気温差の少ない海洋性気候に属し、春から秋にかけて南西風、晩秋から冬にかけては北西の風が吹きますが、年平均気温は8℃前後で、日本海地域の中では比較的恵まれた気象条件となっています。

自然に囲まれた浜益村は、海、山、川の自然環境に恵まれ、日本海オロロンライン沿いに南北36kmの海岸線に、雄冬岬や愛冠岬等の景勝地があり、自然の豊かさとし、古潭以北の7村をあわせ厚田村とする

表 1 沿革

石狩市	明治 4 . 5	花畔村、生振村開村
	明治 15 . 2	樽川村開村、親船町外 9 町 3 村戸長役場設置
	明治 35 . 4	町村制施行、石狩町、花川村組合役場設置
	明治 40 . 4	石狩町、花川村をあわせ石狩町設置、一級町村制施行
	平成 8 . 9	市制施行
厚田村	明治 2	戸長役場設置
	明治 35 . 4	二級町村制施行、聚富・望来・嶺泊の 3 村をあわせ望来村とし、古潭以北の 7 村をあわせ厚田村とする
	明治 40 . 4	一級町村制施行 厚田村、望来村をあわせ厚田村とする
浜益村	明治 5 . 4	戸長役場設置
	明治 35 . 4	浜益村、黄金村設置、二級町村制施行
	明治 40 . 4	黄金村を浜益村にあわせ、浜益村設置、一級町村制施行

図 1 石狩市の変遷

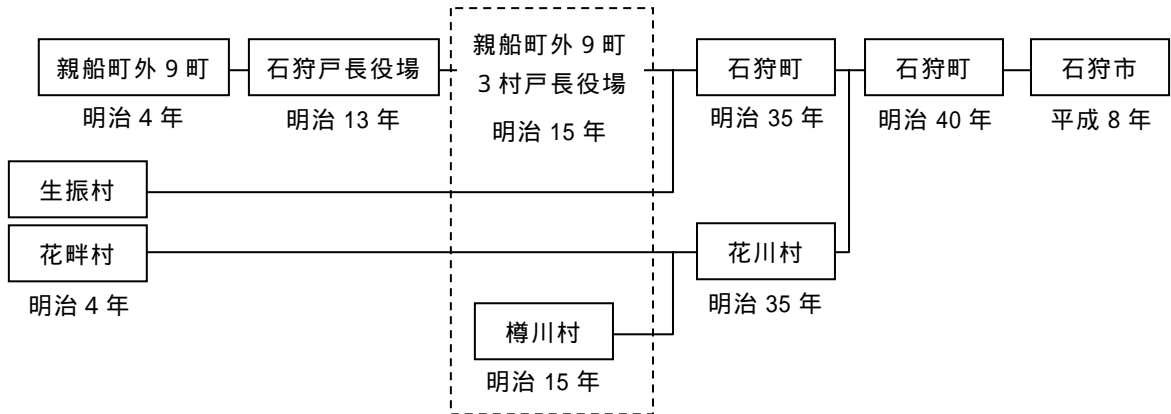


図 2 厚田村の変遷



図 3 浜益村の変遷

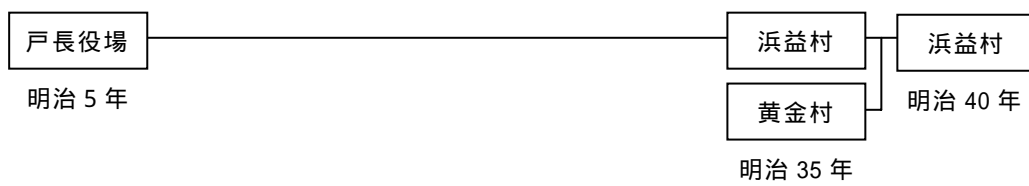


表 2 3市村の気候条件

市村 (下段は観測地点)	区分	降水量 (mm)	最大 1日 降水量 (mm)	最大 1時間 降水量 (mm)	平均 気温 ()	最高 気温 ()	最低 気温 ()	平均 風速 (m/s)	最大 風速 (m/s)	風向	日照 時間 (時間)	最深 積雪 (cm)
	月											
石狩市 北緯 43 度 11.5 分 東経 141 度 22.5 分	1月	103	43	5	-4.6	6.4	-17.1	3.1	10	西	82.2	67
	2月	57	17	4	-2.6	6.8	-16.5	3.1	10	西	126.0	92
	3月	36	10	2	0.8	11.1	-10.1	3.2	11	西北西	140.0	83
	4月	39	14	5	8.1	20.5	-2.1	3.1	11	西北西	188.1	0
	5月	18	4	3	12.0	23.4	2.6	2.6	10	北西	216.0	-
	6月	65	22	4	14.3	25.3	2.4	2.5	7	北西	165.9	-
	7月	106	38	7	19.0	27.1	13.1	2.3	6	北西	93.9	-
	8月	126	23	10	18.9	29.5	12.0	2.2	8	西北西	96.0	-
	9月	58	43	10	15.9	24.9	4.9	1.7	7	北西	188.9	-
	10月	129	25	8	10.5	24.8	0.8	2.3	9	北西	120.4	-
	11月	148	39	6	1.8	12.3	-6.4	3.7	11	北西	62.9	14
	12月	83	12	3	-4.0	9.7	-15.2	4.3	11	西	74.9	69
	全年	968	43	10	7.5	29.5	-17.1	2.8	11	西	1,555.2	92
厚田村 北緯 43 度 23.7 分 東経 141 度 26.5 分	1月	87	21	3	-3.4	7.0	-15.9	3.9	10	西北西	66.7	99
	2月	35	8	3	-1.6	8.9	-16.2	3.8	10	西北西	92.3	82
	3月	31	5	2	1.1	10.8	-10.0	3.8	12	西北西	140.2	75
	4月	70	21	10	7.8	19.8	-3.3	3.7	9	西北西	202.4	0
	5月	30	8	5	11.6	23.4	-1.0	3.2	8	西北西	238.8	-
	6月	66	33	6	14.6	26.5	2.8	3.1	6	東南東	199.8	-
	7月	178	50	17	19.3	28.0	11.8	2.9	8	西	108.9	-
	8月	156	32	14	18.8	26.7	10.6	2.6	7	北西	93.1	-
	9月	49	28	8	15.6	27.0	4.9	2.6	7	西北西	196.5	-
	10月	145	35	8	10.5	23.4	-0.5	3.2	10	北西	99.1	-
	11月	261	41	8	2.5	12.1	-4.6	4.7	11	西北西	28.6	34
	12月	119	16	4	-3.1	8.9	-13.6	5.2	10	西北西	36.0	74
	全年	1,227	50	17	7.8	28.0	-16.2	3.6	12	西北西	1,502.4	99
浜益村 北緯 43 度 34.8 分 東経 141 度 23.5 分	1月	84	16	6	-2.8	7.0	-15.8	4.3	14	西	54.9	55
	2月	54	8	3	-1.0	8.7	-14.6	4.2	13	西	68.1	79
	3月	31	6	2	1.9	9.2	-9.1	4.2	12	西	108.7	42
	4月	74	23	9	8.4	20.2	-1.4	3.7	13	西南西	183.4	0
	5月	32	15	11	12.3	24.5	1.1	2.8	10	北西	219.4	-
	6月	76	35	8	15.2	28.4	4.0	2.9	8	北西	180.5	-
	7月	195	48	20	19.8	27.5	12.6	2.7	8	北西	107.4	-
	8月	179	38	12	19.4	27.6	10.8	2.8	12	南東	86.4	-
	9月	36	24	5	16.4	29.3	5.4	2.8	9	西北西	177.3	-
	10月	191	28	10	11.3	22.5	0.5	3.6	12	南西	94.5	-
	11月	230	29	5	3.0	13.1	-4.4	5.9	15	西北西	12.6	14
	12月	68	11	6	-2.5	8.8	-13.5	6.1	14	西北西	31.9	59
	全年	1,250	48	20	8.5	29.3	-15.8	3.8	15	西北西	1,325.1	79

資料：アメダス 1年間の毎月の値（平成14年）

浜益村における「最深積雪」数値は留萌市における観測のデータによる。

(2) 3 市村を取り巻く環境変化

合併が検討される背景として、市村を取り巻く社会環境の変化の観点から、主に次の4点が考えられます。

住民ニーズの広域化・高度化

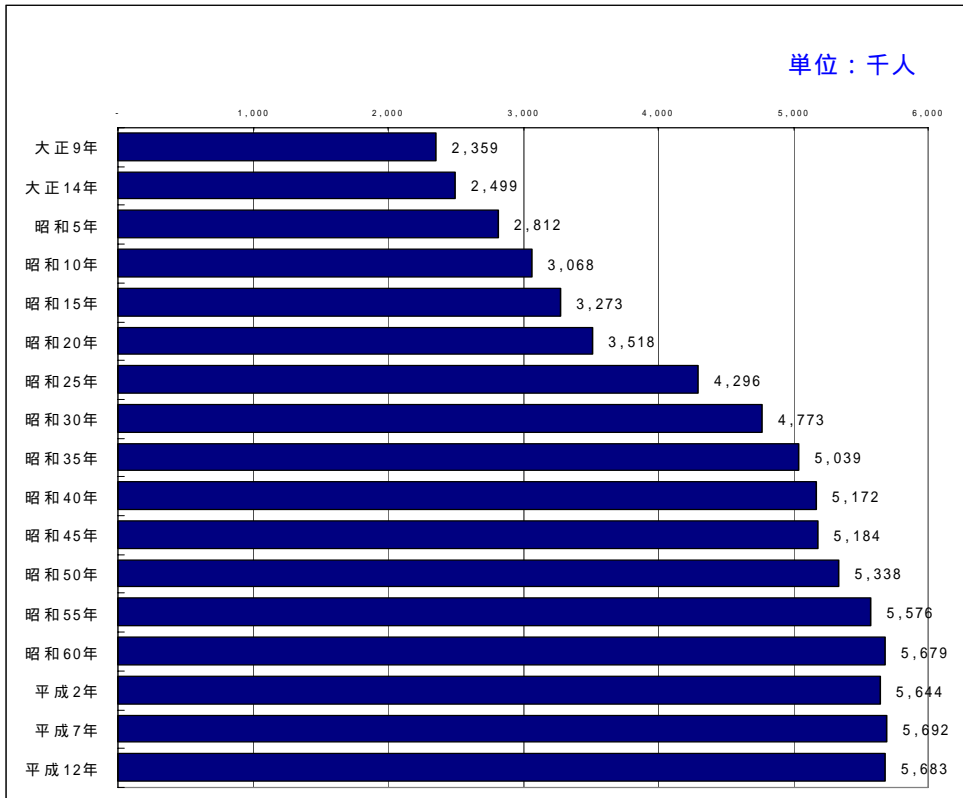
モータリゼーションの浸透、道路整備の進捗などにより、生活様式は大きく変化し、通勤、通学、買い物、通院など住民が日常生活で移動する範囲は、市村という枠を越えて拡大しています。このため、広域的な観点により、専門的で高度な行政サービスを安定的に提供できる体制を築くことで、住民の生活スタイルに合った行政運営を行うことが必要となっています。現在、広域行政として、広域圏組合と一部事務組合が設立されており、広域圏組合では図書館ネットワークなど地域情報化の推進、圏域交流の促進など主にソフト事業を、一部事務組合ではゴミ処理、し尿処理、消防、上水道、港湾などの業務をしていますが、これらの事務事業は今後さらに事業量の増加や事業の高度化・専門化が進むと考えられ、より一体的な運営が求められています。

少子・高齢化

全国的に少子・高齢化の進行とともに、人口が減少していく傾向が高まっています。北海道でも、平成7年国勢調査では5,692,321人（老年化指数¹94.0%）、平成12年の国勢調査では5,683,062人（老年化指数130.2%）と5年で9,259人（0.16%）の減少で、さらに平成14年3月31日現在の住民基本台帳に基づく人口は5,667,024人（老年化指数141.0%）と人口の減少と老年化が続いています。なお、平成14年3月31日現在における北海道の総人口が全国総人口126,478,672人に占める割合は4.5%になっています。

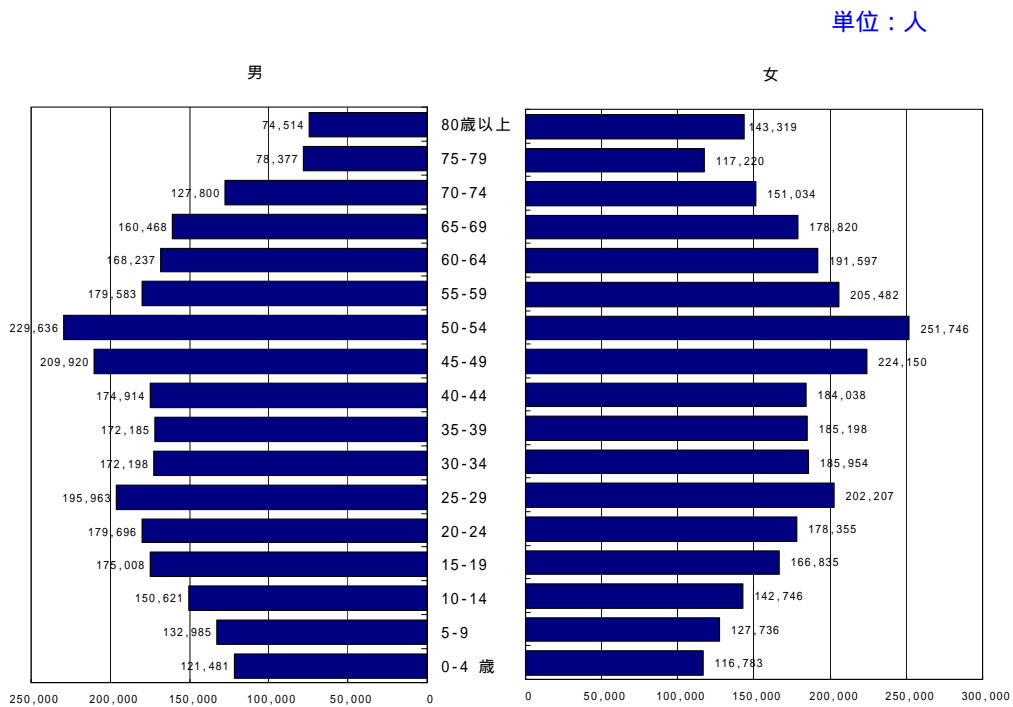
¹ 老年化指数 $(\text{老年人口}) / (\text{年少人口}) \times 100$ という計算式により、老年人口と年少人口のバランスを見る指数。100%を上回ると子供より老人が多いことを示す。

図 4 北海道の人口推移



資料：国勢調査

図 5 北海道の人口ピラミッド

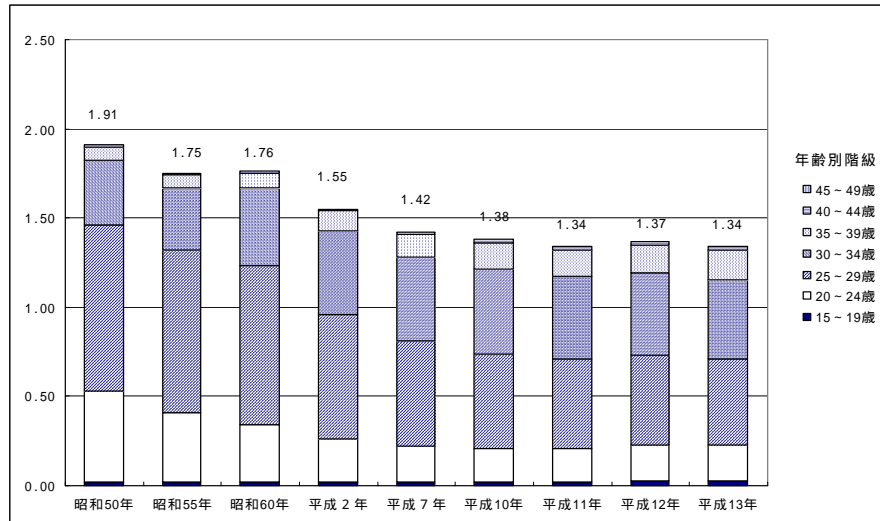


資料：国勢調査（平成12年）

また、全国的な合計特殊出生率²の推移をみると、昭和50年には1.91でしたが、平成13年には1.34と0.57ポイントの減少となっています。

年齢階級別出生率でも、昭和50年代からは30歳代の年齢階級で上昇したものの、30歳未満の年齢階級では低下していることから、結果的に各年齢階級の出生率を合計した合計特殊出生率では低下傾向をたどっています。

図 6 合計特殊出生率の推移



こうした少子・高齢化の中、住民の安心できる生活を維持するためには、保健・医療・福祉といった分野の制度をさらに充実させ、専門技術の高度化をすすめる必要があります。同時に、行政の役割も拡大が進むと考えられます。これらの変化に対応するために、今後は、専門的な能力と同時に多角的な視野を持った職員を育成していくなど、行政組織のあり方も変化を求められています。

²合計特殊出生率 女性の年齢別出生率を15～49歳にわたって合計して得られる出生力の指標で、その値は一人の女性がその年齢別出生率にしたがって子どもを産んだ場合に生涯に産む平均子ども数と解釈することができる。たとえば、平成13年の日本の合計特殊出生率は1.34であったが、この年の年齢別出生率に従って(仮想的な)生涯を過ごした場合、日本の女性は生涯に平均して1.34人しか子どもを産まないことになる。近年の日本では親世代と子世代で同じ人口を維持するためには、合計特殊出生率2.07～2.08が必要なので、この年の状況が長く続いて日本女性が実際に1.34人しか子どもを産まない生涯をおくれば、日本人口は世代ごとに約65% (1.34 ÷ 2.07) に縮小することになる。

地方分権の推進への対応

平成11年7月に成立・公布された地方分権一括法により、すでに機関委任事務が廃止されるなど、地方分権の推進に伴って、国と地方自治体は対等の関係となるよう、様々な制度が改善され、市町村が果たす役割はますます重要になってきています。

同時に、国や道からの権限移譲によって、市町村が行う行政サービスの量が増え、その内容も高度化・専門化してきています。そのため、市町村の自主性・自立性を確立させ、独自のまちづくりをさらに力強く進めていくことが求められています。

また、3市村に暮らす住民の通勤・通学状況をみると、3市村内に通勤・通学している住民21,654人に対して、3市村外へ通勤・通学している住民は16,432人と、3市村を生活の中心にしている人が半数を超えており、住民にとって、3市村は、大切な生活の場であるということがうかがえます。

これらのことから、今後、より一層の住民参加を進め、自主的な発意・構想による、魅力あるまちの創出を、自ら企画し、実行できる体制を築いていくことが期待されます。

こういった動きをより確かなものにするためには、住民参加の活性化と同時に、財政基盤の強化や行政運営の効率化、専門職員の確保や人材育成などによって行政体制の充実、強化を図るとともに地域の特色を活かしたまちづくりを進めることが必要となっています。

厳しい財政状況への対応

わが国の財政は、経済状況の低迷に伴う税収の落ち込みや、経済対策に伴う公債の大量発行などにより、巨額の借金を抱えて厳しい状況にあります。財務省の「財政の現状と今後のあり方」によれば、国や地方公共団体の財政状況は悪化しており、平成14年度末で国と地方の借金（長期債務残高）は約657兆円に達する見込みであり、市町村を取り巻く行財政環境は一段と厳しさを増しています。この額は、国の1年間の国内総生産（GDP）約500兆円を大きく上回っています（対GDP比141.2%）。

しかし、このような状況にあっても、今後、保健・医療・福祉・介護の施策の充実や環境対策、さらには、住民に身近な社会資本の整備や災害に強い安全なまちづくり等の重要課題に対応していくことが必要であり、財政需要の一層の増大

が見込まれるところです。

また、税収が伸び悩む中、市村の財政を支える地方交付税は、今後大きな変革によりさらに減少することも予想されることから、国からの交付金や補助金など、歳入の減少が続くことに備えて、より効率的で無駄のない行財政の体制を構築していくことが求められています。

第2章 地域の現況

1 位置・面積

石狩市、厚田村、浜益村の3市村は、石狩支庁管内に属し、石狩市と道都札幌市とは隣接した位置関係にあります。また、石狩市役所から厚田村役場へは車で北へ約40分、厚田村役場から浜益村役場へはさらに北へ約30分の距離にあります。札幌市内の中心部へは、石狩市内から車で約40分の圏内にあります。

3市村の平成14年4月1日現在における面積は、石狩市117.86km²、厚田村292.83km²、浜益村311.15km²となっています。

図7 道南・道央における3市村の位置



2 人口・世帯数等

(1) 人口・世帯数

3市村の人口は、石狩市は増加傾向、厚田村、浜益村は昭和30年頃から減少が続いています。世帯数は、石狩市では増加傾向、厚田村では近年ほぼ横ばい、浜益村では減少傾向を示しています。また、3市村全体の年齢3区分別³人口では、平成7年から平成12年までの5年間における年平均伸び率⁴を計算すると、年少人口は3.0%、生産年齢人口は+0.6%、老年人口は+4.4%となっており、少子・高齢化が進行していることがわかります。

³ 年齢3区分別 年少人口(0歳～14歳)、生産年齢人口(15歳～64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分。
⁴ 年平均伸び率 平成7年から12年までの5年間における年平均伸び率は、複利計算式を利用し、次の算式により求める。
年平均伸び率 = (平成12年数値 / 平成7年数値)^(1 / 5年間) - 1

表 3 人口の推移

単位：人、世帯

	項 目	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	
石狩市	人 口	41,642	47,339	52,209	54,567	
	男	20,342	22,912	25,227	26,323	
	女	21,300	24,427	26,982	28,244	
	年齢 3区 分別 人口	年少人口 (0-14 歳)	11,320	10,636	9,368	8,132
		生産年齢人口 (15-64 歳)	27,320	32,308	36,610	37,990
		老年人口 (65 歳以上)	3,000	4,387	6,229	8,034
		(年齢不詳)	2	8	2	411
	世 帯 数	11,855	14,126	16,549	18,688	
厚田村	人 口	3,046	3,022	2,947	2,804	
	男	1,511	1,508	1,473	1,387	
	女	1,535	1,514	1,474	1,417	
	年齢 3区 分別 人口	年少人口 (0-14 歳)	614	543	489	353
		生産年齢人口 (15-64 歳)	1,892	1,891	1,762	1,689
		老年人口 (65 歳以上)	540	588	696	762
		(年齢不詳)	0	0	0	0
	世 帯 数	941	995	1,027	1,032	
浜益村	人 口	3,327	2,782	2,550	2,363	
	男	1,589	1,290	1,208	1,156	
	女	1,738	1,492	1,342	1,207	
	年齢 3区 分別 人口	年少人口 (0-14 歳)	504	371	260	203
		生産年齢人口 (15-64 歳)	2,135	1,623	1,402	1,255
		老年人口 (65 歳以上)	688	788	888	905
		(年齢不詳)	0	0	0	0
	世 帯 数	1,181	1,084	1,066	1,091	
3 市村計	人 口	48,015	53,143	57,706	59,734	
	男	23,442	25,710	27,908	28,866	
	女	24,573	27,433	29,798	30,868	
	年齢 3区 分別 人口	年少人口 (0-14 歳)	12,438	11,550	10,117	8,688
		生産年齢人口 (15-64 歳)	31,347	35,822	39,774	40,934
		老年人口 (65 歳以上)	4,228	5,763	7,813	9,701
		(年齢不詳)	2	8	2	411
	世 帯 数	13,977	16,205	18,642	20,811	

資料：国勢調査

また、平成12年における年齢3区分別の人口指数では、生産年齢者100人に対して年少者21.2人、高齢者23.7人、この2者を合わせた従属者は約45人となります。

この数値を、石狩支庁管内市町村及び北海道の数値と比較すると次の表のとおりとなります。

表 4 人口指数の推移、石狩支庁及び北海道数値との比較

単位：人

区分	市村名	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年				
					石狩支庁	北海道			
年齢3区分別指数	年少人口指数	石狩市	41.4	32.9	25.6	21.4 >	19.9	>	20.7
		厚田村	32.5	28.7	27.8	20.9 >		>	
		浜益村	23.6	22.9	18.5	16.2 <		<	
		3市村	39.7	32.2	25.4	21.2 >		>	
	老年人口指数	石狩市	11.0	13.6	17.0	21.1 >	20.5	<	26.9
		厚田村	28.5	31.1	39.5	45.1 >		>	
		浜益村	32.2	48.6	63.3	72.1 >		>	
		3市村	13.5	16.1	19.6	23.7 >		<	
	従属人口指数	石狩市	52.4	46.5	42.6	42.6 >	40.5	<	47.6
		厚田村	61.0	59.8	67.3	66.0 >		>	
		浜益村	55.8	71.4	81.9	88.3 >		>	
		3市村	53.2	48.3	45.1	44.9 >		<	

総人口に占める年少人口の割合	石狩市	27.2	22.5	17.9	14.9 >	14.0	>	13.9
	厚田村	20.2	18.0	16.6	12.6 <		<	
	浜益村	15.1	13.3	10.2	8.6 <		<	
	3市村	25.9	21.7	17.5	14.5 >		>	
高齢者比率	石狩市	7.2	9.3	11.9	14.7 >	14.5	<	18.2
	厚田村	17.7	19.5	23.6	27.2 >		>	
	浜益村	20.7	28.3	34.8	38.3 >		>	
	3市村	8.8	10.8	13.5	16.2 >		<	
老年化指数	石狩市	26.5	41.2	66.5	98.8 <	103.0	<	130.2
	厚田村	87.9	108.3	142.3	215.9 >		>	
	浜益村	136.5	212.4	341.5	445.8 >		>	
	3市村	34.0	49.9	77.2	111.7 >		<	

資料：国勢調査

年少人口指数⁵ = (年少人口：0～14歳) / (生産年齢人口：15歳～64歳) × 100

老年人口指数⁶ = (老年人口：65歳以上) / (生産年齢人口) × 100

従属人口指数⁷ = (年少人口 + 老年人口) / (生産年齢人口) × 100

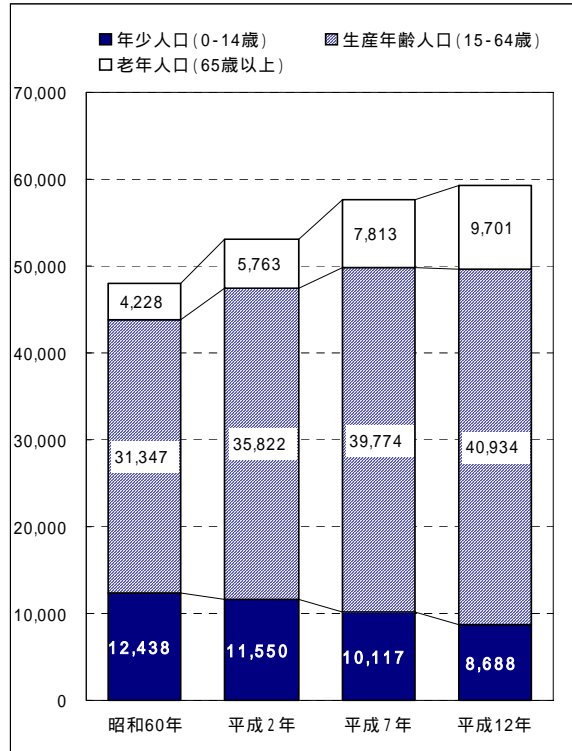
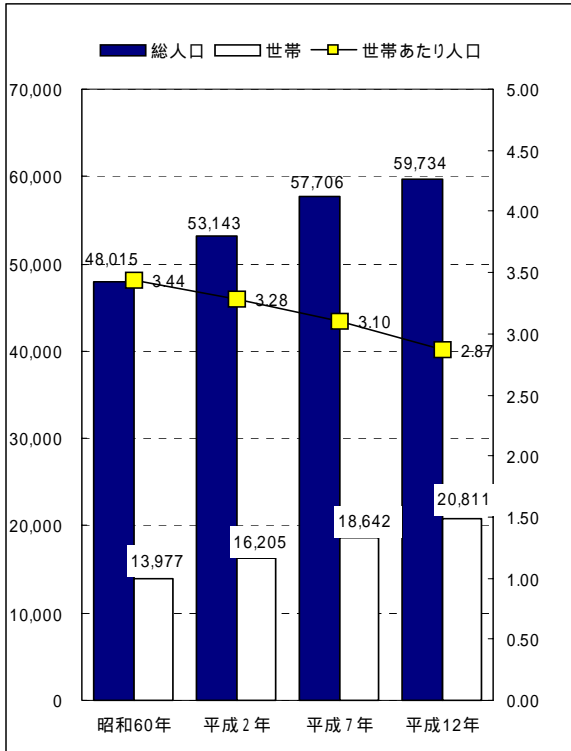
老年化指数⁸ = (老年人口) / (年少人口) × 100

- ⁵ 年少人口指数 生産年齢人口100人が何人の子供を扶養しているかを示す。
⁶ 老年人口指数 生産年齢人口100人が何人の高齢者を扶養しているかを示す。
⁷ 従属人口指数 生産年齢人口100人が何人の子供や高齢者を扶養しているかを示す。
⁸ 老年化指数 100を上回ると子供より高齢者が多くなることを示す。

図 8 人口の推移

< 3 市村合計 >

単位：人、世帯

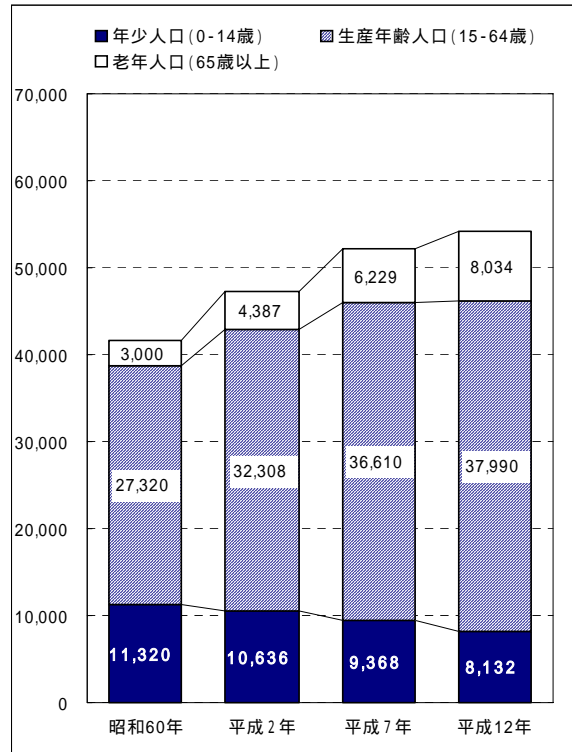
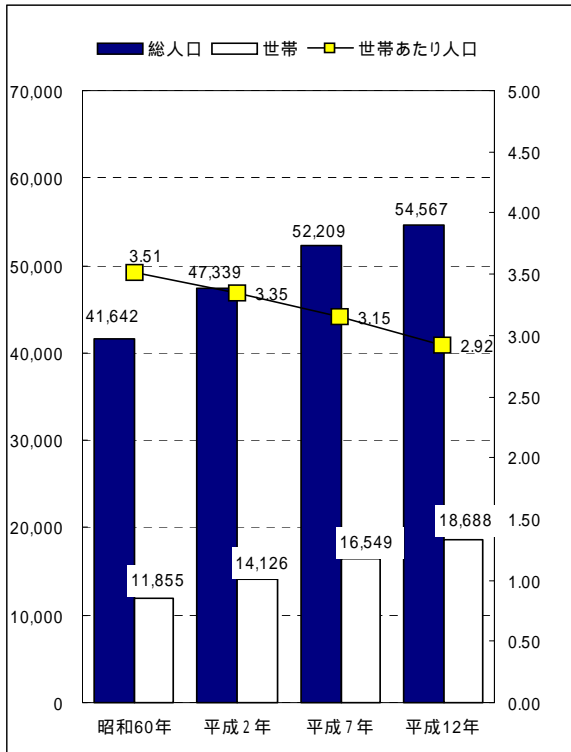


資料：国勢調査

年齢不詳者を除く。

<石狩市>

単位：人、世帯

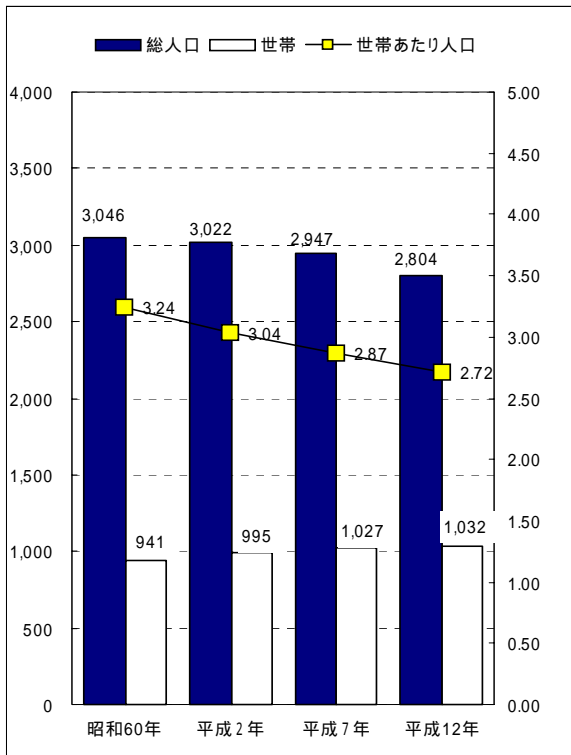


資料：国勢調査

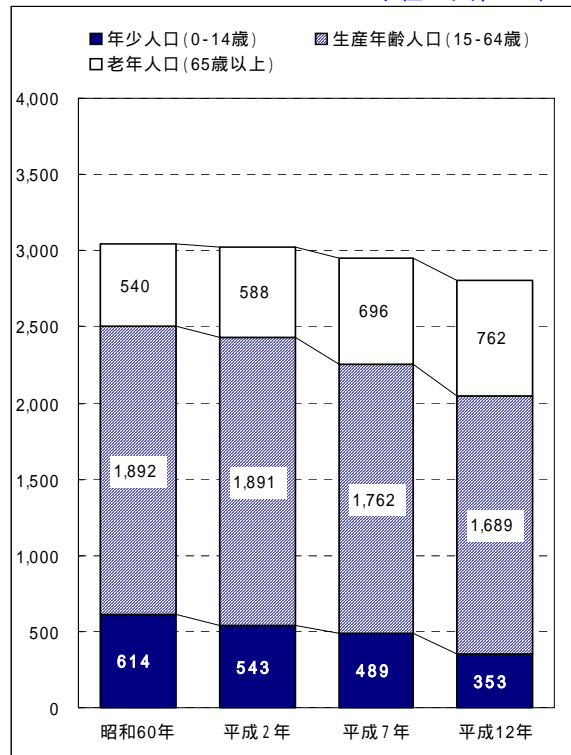
年齢不詳者を除く。

<厚田村>

単位：人、世帯



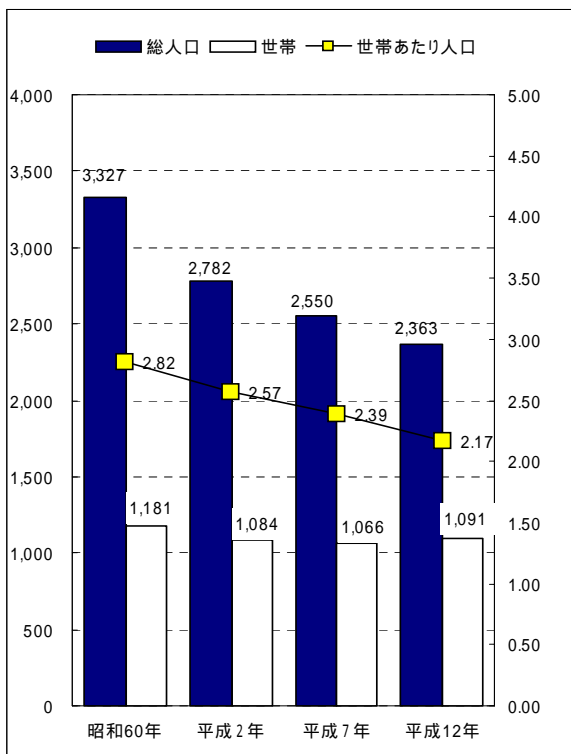
資料：国勢調査



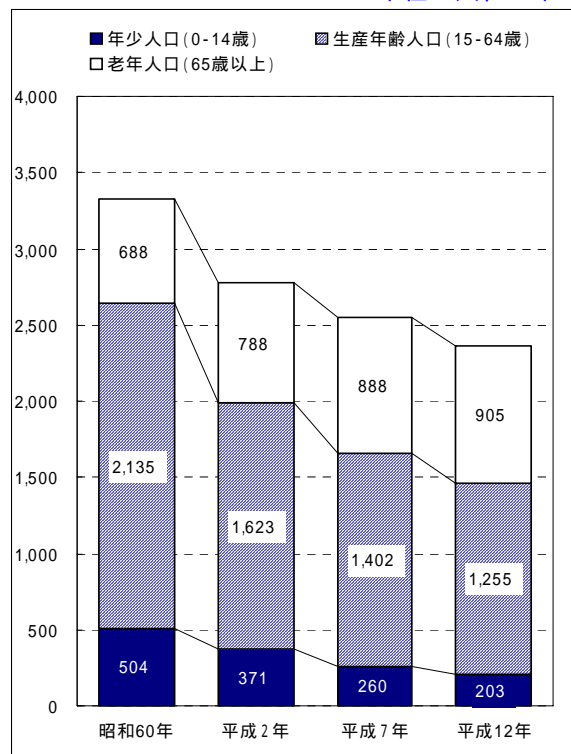
年齢不詳者を除く。

<浜益村>

単位：人、世帯

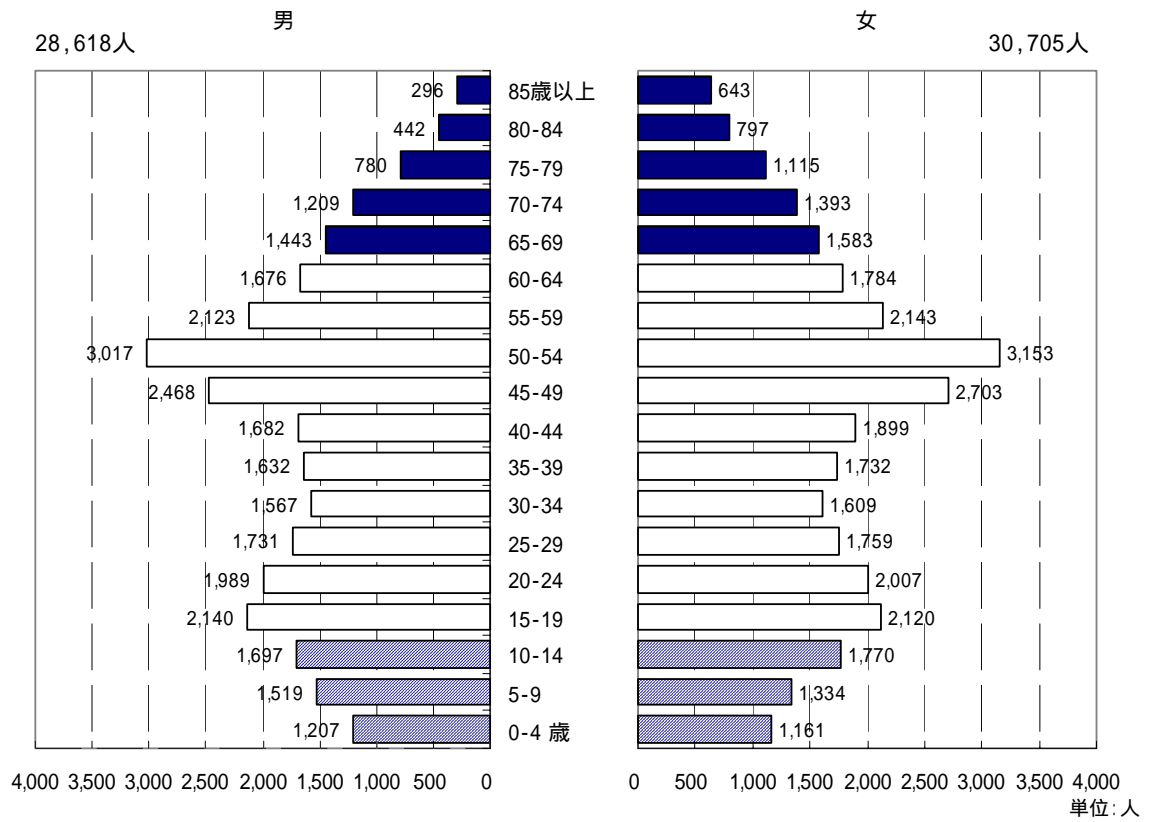


資料：国勢調査



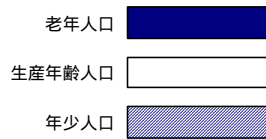
年齢不詳者を除く。

図 9 平成12年の3市村の人口ピラミッド



資料: 国勢調査

年齢不詳者を除く。



(2) 人口動態

平成12年の人口動態調査では、昼間人口⁹と夜間人口¹⁰の差は、石狩市(1,326人)、厚田村(35人)と夜間人口の方が多く、昼間人口比率はそれぞれ97.6%、98.8%となっています。逆に、浜益村では昼間人口の方が多く(26人)、昼間人口比率は101.1%となっています。また、平成13年における自然増減(出生数と死亡数)と社会増減(転入と転出)の合計(純増減)は、石狩市が+147人、厚田村が64人、浜益村が35人となっています。道全体では減少傾向にある中、石狩支庁管内市町村で増加傾向にあり、3市村内では、石狩市を中心に増加傾向にあります。

表 5 流入・流出人口

単位：人、%

区 分	石狩市	厚田村	浜益村	3市村
総人口	54,567	2,804	2,363	59,734
夜間人口 (a)	54,156	2,804	2,363	59,323
昼間人口 (b)	52,830	2,769	2,389	57,988
流出人口総数 (15歳以上)	16,218	421	93	16,732
通勤	13,730	337	82	14,149
通学	2,488	84	11	2,583
流入人口総数 (15歳以上)	14,892	386	119	15,397
通勤	13,023	381	116	13,520
通学	1,869	5	3	1,877
流出入の差 (b) - (a)	1,326	35	26	1,335
昼間人口比率 ¹¹	97.6	98.8	101.1	97.8

資料：国勢調査(平成12年)

⁹ 昼間人口 「従業地・通学地」による人口

¹⁰ 夜間人口 「常住地による人口」であり、調査の時期に調査の地域に常住している人口で「常住人口」ともいう。

¹¹ 昼間人口比率 夜間人口100人あたりの昼間人口数

表 6 人口の動き

単位：人

	平成 9 年				平成 1 0 年				平成 1 1 年			
	石狩市	厚田村	浜益村	3 市村	石狩市	厚田村	浜益村	3 市村	石狩市	厚田村	浜益村	3 市村
増減数	253	28	48	177	477	24	111	342	464	53	77	334
自然増減	82	10	15	57	69	18	29	22	3	13	18	28
出生	388	18	18	424	381	19	9	409	361	16	12	389
死亡	306	28	33	367	312	37	38	387	358	29	30	417
社会増減	163	32	33	98	412	7	32	387	457	43	59	355
転入	2,841	160	87	3,088	2,764	153	68	2,985	3,009	114	73	3,196
転出	2,678	192	120	2,990	2,352	146	100	2,598	2,552	157	132	2,841
その他増減	8	14	0	22	4	13	50	67	4	3	0	7
その他増	11	17	0	28	8	3	0	11	6	3	2	11
その他減	3	3	0	6	12	16	50	78	2	0	2	4

	平成 1 2 年				平成 1 3 年			
	石狩市	厚田村	浜益村	3 市村	石狩市	厚田村	浜益村	3 市村
増減数	440	27	41	372	147	64	35	48
自然増減	100	18	22	60	49	26	23	0
出生	412	19	11	442	393	16	19	428
死亡	312	37	33	382	344	42	42	428
社会増減	341	10	18	313	98	38	12	48
転入	2,937	150	78	3,165	2,719	106	76	2,901
転出	2,596	160	96	2,852	2,621	144	88	2,853
その他増減	1	1	1	1	0	0	0	0
その他増	4	1	3	8	9	0	0	9
その他減	5	0	4	9	9	0	0	9

資料：道総合企画部地域振興室市町村課

各年1月1日～12月31日の人口動態

(3) 世帯状況

世帯状況は、核家族¹²の占める割合が、石狩市が7割強となり、道平均値（60.5%）を上回っていますが、厚田村、浜益村では6割弱となり、道平均値を下回っています。

核家族の高齢化が進んでいるのは浜益村で、6割近くの数値を示しています。また、高齢単身世帯¹³では、石狩市では道の平均を下回る4.9%ですが、厚田村、浜益村では11.5%、16.5%と道の平均を大きく上回っています。

表 7 世帯の状況

単位：世帯、%

区 分	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計	北海道	
一般世帯数	総数：(a)	18,452	1,013	992	20,457	2,277,968
	親族世帯	15,738	754	713	17,205	1,586,366
	核家族世帯：(b)	13,816	580	578	14,974	1,379,076
	その他の世帯	1,922	174	135	2,231	207,290
	非親族世帯	48	1	1	50	9,329
	単身世帯 ¹⁴ ：(c)	2,666	258	278	3,202	682,273
核家族世帯割合：(b) / (a) × 100	74.9	57.3	58.3	73.2	60.5	
単身世帯割合：(c) / (a) × 100	14.4	25.5	28.0	15.7	30.0	
65歳以上の親族の いる一般世帯数	総数	5,343	489	610	6,442	694,875
	親族世帯	4,437	373	445	5,255	525,725
	核家族世帯：(d)	2,879	219	325	3,423	359,046
	その他の世帯	1,558	154	120	1,832	166,679
	非親族世帯	4	-	1	5	812
	単身世帯：(e)	902	116	164	1,182	168,338
一般世帯における核家族世帯数に対する 65歳以上の親族のいる核家族世帯数の割合： (d) / (b) × 100	20.8	37.8	56.2	22.9	26.0	
高齢単身世帯割合：(e) / (a) × 100	4.9	11.5	16.5	5.8	7.4	

資料：国勢調査（平成12年）

¹² 核家族 夫婦のみ、夫婦と子供など2世代以下の構成による世帯のこと
¹³ 高齢単身世帯 65歳以上の単身世帯
¹⁴ 単身世帯 単身者だけの世帯

(4) 通勤・通学状況

3市村に常住する通勤・通学者の総数は38,086人、そのうち3市村で従業・通学する人は21,654人であり、16,432人の人は3市村外へ通勤・通学しています。

通勤先を見ると、3市村内では、厚田村及び浜益村から石狩市へ125人、石狩市及び浜益村から厚田村へ119人、石狩市及び厚田村から浜益村へ16人がそれぞれ通勤している状況となっています。また、通学先では、同様に石狩市へ34人、厚田村へ5人、浜益村へ1人となっています。

3市村から3市村以外へ通勤・通学している人が多い上位5市町は札幌市(15,123人)、小樽市(487人)、当別町(188人)、江別市(211人)、北広島市(82人)であり、逆に、3市村以外から通勤している人の多い上位5市町は札幌市(13,567人)、小樽市(539人)、当別町(283人)、江別市(270人)、北広島市(86人)となっています。

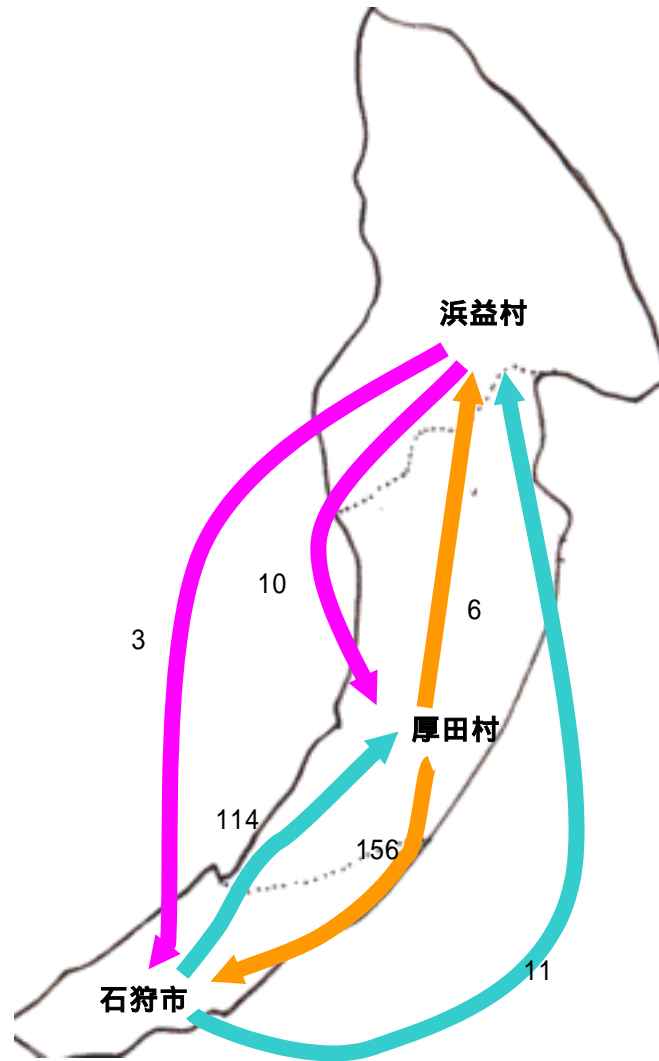
表 8 3市村内の通勤・通学状況

単位：人

市村	常住地による従業・通学の状況	総数	就業者 (15歳以上)	通学者 (15歳未満を含む)	従業地・通学地による常住の状況	総数	就業者 (15歳以上)	通学者 (15歳未満を含む)
石狩市	石狩市に常住する就業者・通学者	34,958	26,111	8,847	石狩市で従業・通学する者	33,632	25,404	8,228
	3市村で従業・通学	18,865	12,504	6,361	3市村に常住	18,899	12,506	6,393
	うち厚田村で従業・通学	114	113	1	うち厚田村に常住	156	122	34
	うち浜益村で従業・通学	11	10	1	うち浜益村に常住	3	3	-
	3市村以外で従業・通学	16,093	13,607	2,486	3市村以外に常住	14,733	12,898	1,835
	札幌市	14,889	12,656	2,233	札幌市	13,328	11,595	1,733
	小樽市	482	409	73	小樽市	533	524	9
	旭川市	11	11	-	岩見沢市	62	56	6
	岩見沢市	26	19	7	苫小牧市	13	12	1
	苫小牧市	22	20	2	美唄市	10	9	1
	江別市	205	116	89	江別市	260	250	10
	千歳市	38	32	6	千歳市	15	8	7
	恵庭市	44	28	16	恵庭市	30	20	10
	北広島市	78	67	11	北広島市	84	70	14
	当別町	148	113	35	当別町	267	229	38
	栗山町	12	12	-	余市町	21	20	1
その他の市町村	118	104	14	南幌町	15	15	-	
他県	20	20	-	その他の市町村	88	83	5	
				他県	7	7	-	
厚田村	厚田村に常住する就業者・通学者	1,740	1,397	343	厚田村で従業・通学する者	1,705	1,441	264
	3市村で従業・通学	1,481	1,188	293	3市村に常住	1,443	1,179	264
	うち石狩市で従業・通学	156	122	34	うち石狩市に常住	114	113	1
	うち浜益村で従業・通学	6	6	-	うち浜益村に常住	10	6	4
	3市村以外で従業・通学	259	209	50	3市村以外に常住	262	262	-
	札幌市	203	153	50	札幌市	198	198	-
	当別町	31	31	-	当別町	15	15	-
					小樽市	6	6	-
					江別市	9	9	-
	その他の市町村	22	22	-	戸井町	6	6	-
他県	3	3	-	その他の市町村	21	21	-	
				他県	7	7	-	
浜益村	浜益村に常住する就業者・通学者	1,388	1,199	189	浜益村で従業・通学する者	1,414	1,233	181
	3市村で従業・通学	1,308	1,126	182	3市村に常住	1,312	1,133	179
	うち石狩市で従業・通学	3	3	-	うち石狩市に常住	11	10	1
	うち厚田村で従業・通学	10	6	4	うち厚田村に常住	6	6	-
	3市村以外で従業・通学	80	73	7	3市村以外に常住	102	100	2
	札幌市	31	26	5	札幌市	41	41	-
	当別町	9	9	-	旭川市	9	9	-
	増毛町	9	9	-	芦別市	6	6	-
	滝川市	6	6	-	滝川市	7	7	-
	その他の市町村	24	22	2	増毛町	9	7	2
他県	1	1	-	その他の市町村	29	29	-	
				他県	1	1	-	
3市村計	3市村に常住する就業者・通学者	38,086	28,707	9,379	3市村で従業・通学する者	36,751	28,078	8,673
	3市村で従業・通学	21,654	14,818	6,836	3市村に常住	21,654	14,818	6,836
	3市村以外で従業・通学	16,432	13,889	2,543	3市村以外に常住	15,097	13,260	1,837

資料：国勢調査（平成12年）

図 10 3市村内の通勤・通学状況



資料：国勢調査（平成12年）

数字は人数




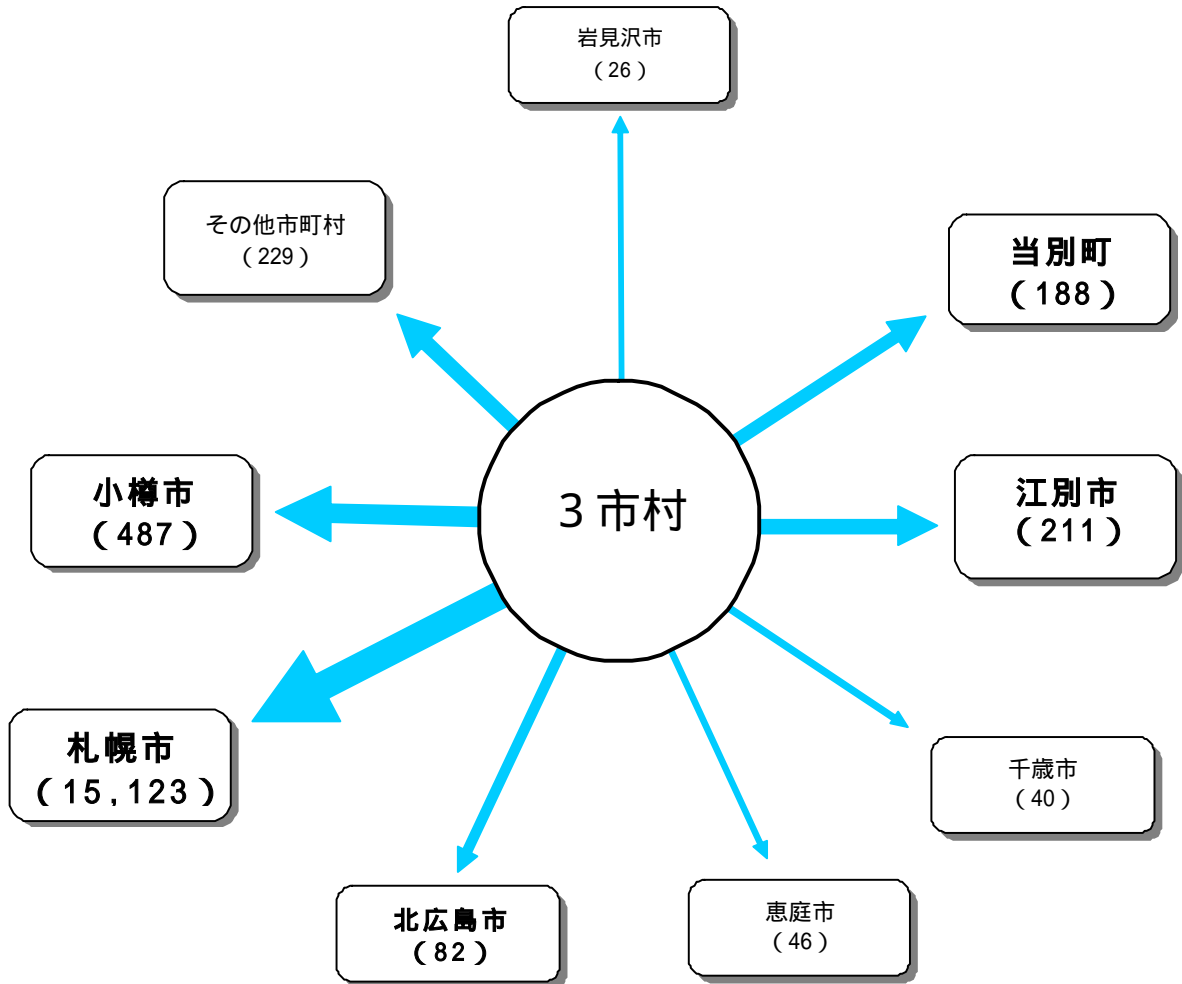
-  石狩市から他村への人口動態
-  厚田村から他市村への人口動態
-  浜益村から他市村への人口動態

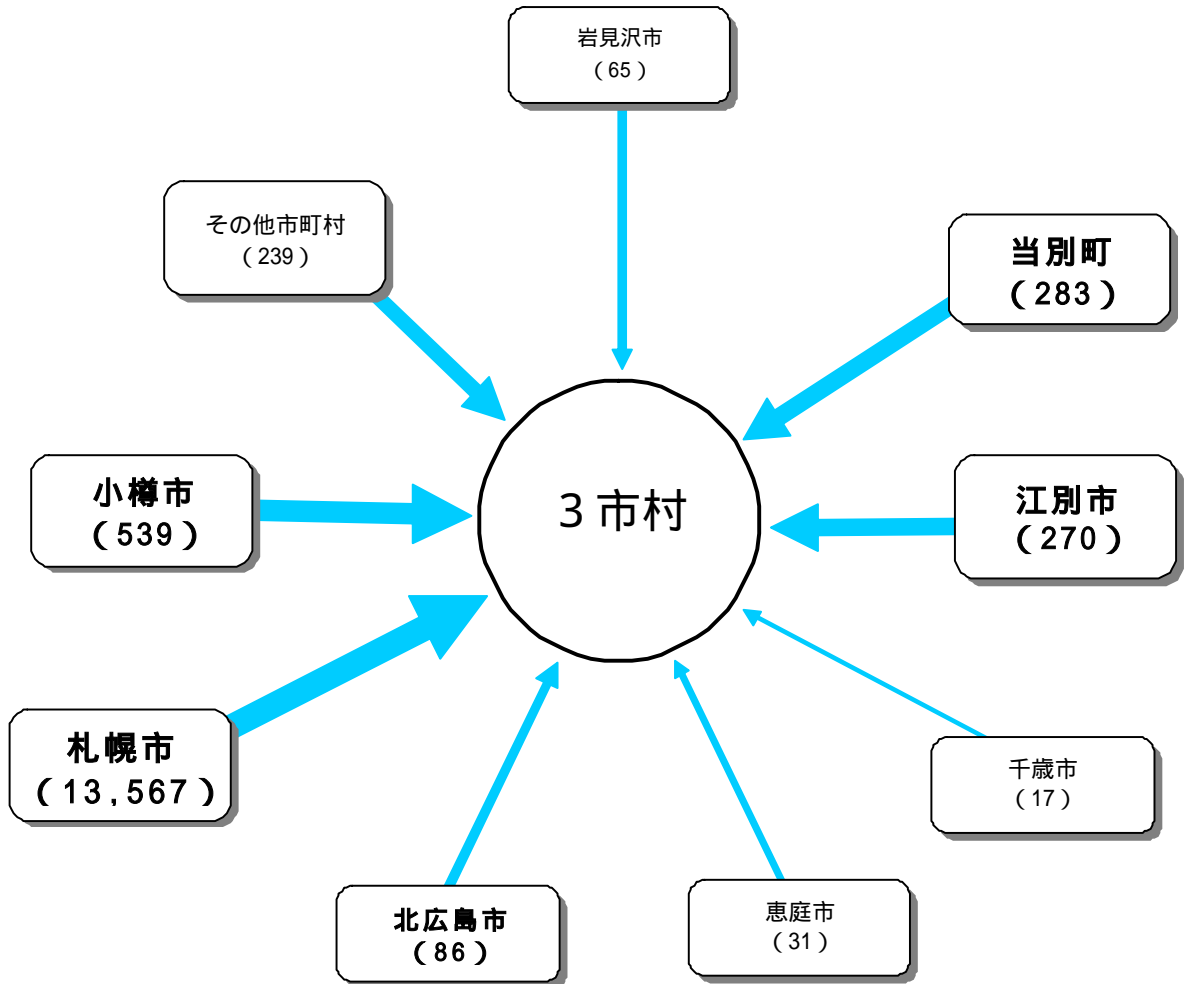
図 11 3市村から他地域へ通勤・通学している人



資料：国勢調査（平成12年）

数字は人数

図 12 他地域から3市村へ通勤・通学している人



資料：国勢調査（平成12年）

数字は人数

(5) 産業別人口

3市村全体の産業別人口では、平成12年の就業者総数に対する割合は第1次産業5.5%、第2次産業27.2%、第3次産業64.8%となっており、経年変化では、第1次産業比率の低下と、第3次産業比率の拡大が進んでいることがわかります。

また、平成12年の3市村の比較では、第1次産業比率は厚田村が最も高く3割を超えており、第2次産業比率は浜益村が最も高くなっています。第3次産業比率は石狩市が最も高く66.6%となっています。

表 9 産業別人口

単位：人、%

年	市村	人口	15歳以上人口	労働力人口	就業者総数						
					第1次産業		第2次産業		第3次産業		
						構成比		構成比			構成比
昭和60年	石狩市	41,642	30,320	17,860	17,265	1,223	7.1	4,644	26.9	11,363	65.8
	厚田村	3,046	2,432	1,518	1,490	681	45.7	223	15.0	585	39.3
	浜益村	3,327	2,823	1,669	1,611	514	31.9	571	35.4	526	32.7
	計	48,015	35,575	21,047	20,366	2,418	11.9	5,438	26.7	12,474	61.2
	北海道	5,679,439	4,460,216	2,744,844	2,625,352	332,034	12.6	616,489	23.5	1,673,622	63.7
平成2年	石狩市	47,339	36,695	21,237	20,633	1,004	4.9	6,161	29.9	13,340	64.7
	厚田村	3,022	2,479	1,542	1,507	593	39.3	249	16.5	663	44.0
	浜益村	2,782	2,411	1,313	1,283	397	30.9	407	31.7	478	37.3
	計	53,143	41,585	24,092	23,423	1,994	8.5	6,817	29.1	14,481	61.8
	北海道	5,643,647	4,599,598	2,796,200	2,694,903	290,867	10.8	630,809	23.4	1,763,593	65.4
平成7年	石狩市	52,209	42,839	25,642	24,665	899	3.6	7,295	29.6	16,275	66.0
	厚田村	2,947	2,458	1,522	1,494	494	33.1	257	17.2	739	49.5
	浜益村	2,550	2,290	1,286	1,247	331	26.5	412	33.0	504	40.4
	計	57,706	47,587	28,450	27,406	1,724	6.3	7,964	29.1	17,518	63.9
	北海道	5,692,321	4,787,795	2,935,207	2,806,435	251,434	9.0	658,540	23.5	1,881,483	67.0
平成12年	石狩市	54,567	46,024	27,514	26,111	878	3.4	7,142	27.4	17,391	66.6
	厚田村	2,804	2,451	1,444	1,397	440	31.5	271	19.4	682	48.8
	浜益村	2,363	2,160	1,215	1,199	273	22.8	403	33.6	523	43.6
	計	59,734	50,635	30,173	28,707	1,591	5.5	7,816	27.2	18,596	64.8
	北海道	5,683,062	4,864,454	2,867,676	2,730,723	217,908	8.0	602,859	22.1	1,881,089	68.9

資料：国勢調査

就業者総数には分類不能の産業を含む。

3 人口の将来見通し

推計目標年次を平成42年（2030年）として、3市村の人口及び世帯、並びに就業者について、表11、表12のとおり推計しました。人口については、厚生労働省社会保障・人口問題研究所の推計方法、世帯数についてはトレンド法¹⁵を採用しています。また、就業者人口は平成7年から12年までの年平均伸び率により推計しています。（詳細は巻末資料）

この推計結果に基づく人口指数から、年少人口指数は減少し、老年人口指数及び従属人口指数は増加傾向になることが予測されます。また、65歳以上が人口に占める割合の高齢者比率は平成12年の16.2%から、20年後の平成32年には3割を超え、推計目標年次の平成42年には33.1%に達する見込みです。

表 10 人口、世帯数等の推移（3市村合計）

単位：人、%

区 分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
総 人 口	59,734	61,896	64,224	66,106	67,027	66,903	65,967
年少人口	8,688	8,454	8,656	8,767	8,312	7,508	6,802
生産年齢人口	40,934	41,671	41,233	38,824	37,499	37,582	37,319
老年人口	9,701	11,770	14,332	18,515	21,214	21,817	21,845
高齢者比率	16.2	19.0	22.3	28.0	31.6	32.6	33.1
世 帯 数	20,811	24,009	26,030	27,939	29,784	31,590	33,373
従 属 人 口 指 数	44.9	48.5	55.8	70.3	78.7	78.0	76.8
年少人口指数	21.2	20.3	21.0	22.6	22.2	20.0	18.2
老年人口指数	23.7	28.2	34.8	47.7	56.6	58.1	58.5

実績値 ← → 推計値

表 11 就業者人口の推移（3市村合計）

単位：人、%

区 分	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
総 人 口	57,706	59,734	61,896	64,224	66,106	67,027	66,903	65,967
就業者総数	27,406	28,707	30,106	31,611	32,927	33,788	34,134	34,059
第 1 次産業	1,724	1,591	1,468	1,355	1,250	1,154	1,065	983
(比率)	(6.3)	(5.5)	(4.9)	(4.3)	(3.8)	(3.4)	(3.1)	(2.9)
第 2 次産業	7,964	7,816	8,551	9,075	9,608	10,152	10,706	11,271
(比率)	(29.1)	(27.2)	(28.4)	(28.7)	(29.2)	(30.0)	(31.4)	(33.1)
第 3 次産業	17,518	18,596	20,087	21,181	22,069	22,482	22,363	21,805
(比率)	(63.9)	(64.8)	(66.7)	(67.0)	(67.0)	(66.5)	(65.5)	(64.0)

実績値 ← → 推計値

平成7,12年の就業者総数には分類不能の産業を含む。

¹⁵ トrend法（時系列解析法）過去の動態、いわゆるトレンド（傾向）が将来とも同じように推移するという考えに基づく予測方法。

図 13 人口の推移

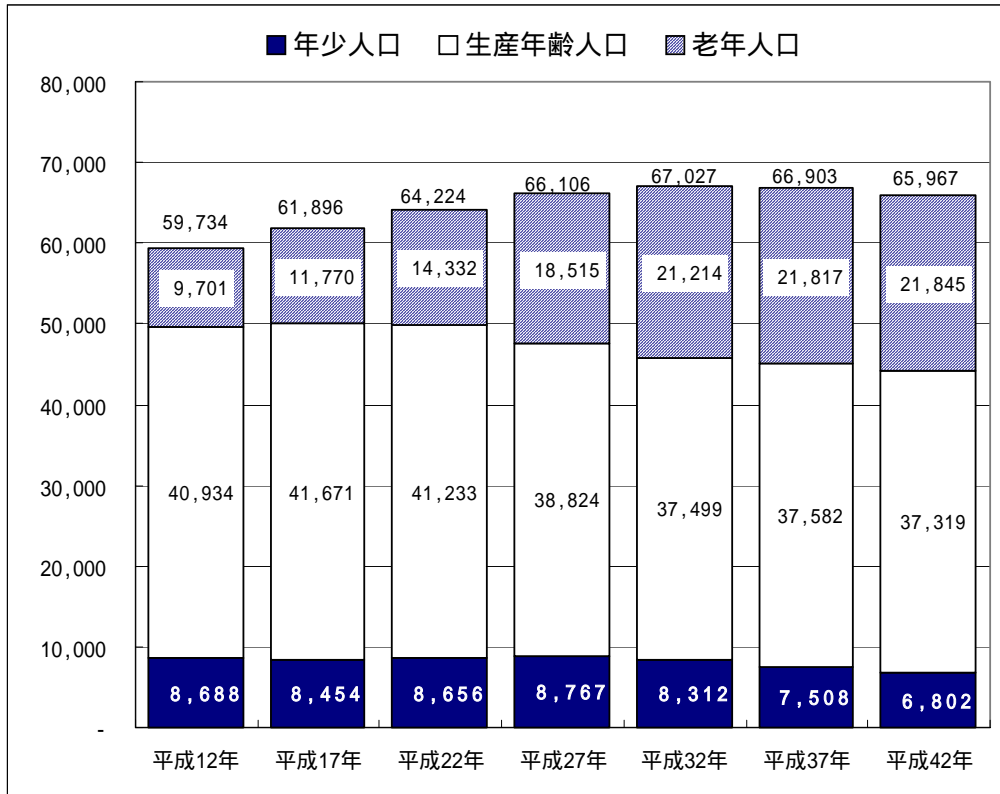
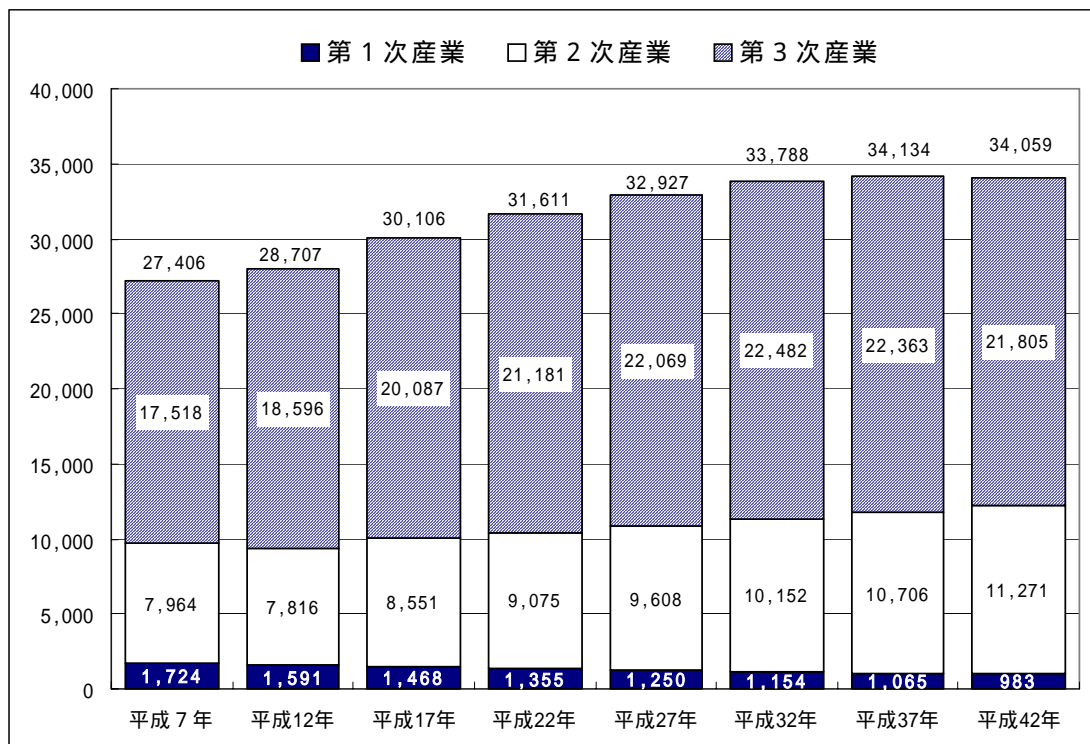


図 14 就業者人口の推移



4 土地利用

(1) 土地利用

平成14年度の土地利用の状況は、3市村全体で、田、畑の農用地があわせて8.5%、宅地が2.5%、山林原野が77.4%となります。また、石狩市には都市計画区域の指定と用途区域の指定があります。

表 12 土地利用の推移

単位：ha、%

区分	昭和60年度		平成2年度		平成7年度		平成12年度		平成14年度		
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	
田	石狩市	2,413	20.1	2,217	18.4	2,136	17.8	2,123	18.0	2,121	18.0
	厚田村	1,002	3.4	989	3.4	968	3.3	970	3.3	968	3.3
	浜益村	449	1.4	454	1.5	450	1.4	450	1.4	443	1.4
	計	3,864	5.3	3,660	5.1	3,554	4.9	3,543	4.9	3,532	4.9
畑	石狩市	1,607	13.4	1,553	12.9	1,463	12.2	1,278	10.8	1,262	10.7
	厚田村	1,129	3.9	1,161	4.0	1,131	3.9	1,157	4.0	1,161	4.0
	浜益村	353	1.1	176	0.6	149	0.5	145	0.5	150	0.5
	計	3,089	4.3	2,890	4.0	2,743	3.8	2,580	3.6	2,573	3.6
宅地	石狩市	993	8.3	1,057	8.8	1,419	11.8	1,620	13.7	1,581	13.4
	厚田村	114	0.4	117	0.4	123	0.4	129	0.4	130	0.4
	浜益村	70	0.2	75	0.2	74	0.2	80	0.3	79	0.3
	計	1,177	1.6	1,249	1.7	1,616	2.2	1,829	2.5	1,790	2.5
山林原野	石狩市	2,836	23.7	2,907	24.2	1,919	16.0	1,889	16.0	1,899	16.1
	厚田村	25,760	88.0	25,648	87.6	25,374	86.6	25,253	86.2	25,857	88.3
	浜益村	27,946	89.1	28,099	90.3	28,095	90.3	28,093	90.3	28,113	90.4
	計	56,542	77.9	56,654	78.2	55,388	76.5	55,235	76.5	55,869	77.4
その他	石狩市	4,141	34.5	4,284	35.6	5,084	42.3	4,875	41.4	4,923	41.8
	厚田村	1,279	4.4	1,369	4.7	1,688	5.8	1,775	6.1	1,167	4.0
	浜益村	2,530	8.1	2,308	7.4	2,344	7.5	2,347	7.5	2,330	7.5
	計	7,950	10.9	7,961	11.0	9,116	12.6	8,997	12.5	8,420	11.7
3市村合計	石狩市	11,990	100.0	12,018	100.0	12,021	100.0	11,785	100.0	11,786	100.0
	厚田村	29,284	100.0	29,284	100.0	29,284	100.0	29,284	100.0	29,283	100.0
	浜益村	31,348	100.0	31,112	100.0	31,112	100.0	31,115	100.0	31,115	100.0
	計	72,622	100.0	72,414	100.0	72,417	100.0	72,184	100.0	72,184	100.0

資料：各市村調（固定資産の価格等の概要調査 各年1月1日現在）

表 13 石狩市の都市計画区域

区 域	面積 (ha)	構成比 (%)
行政区域	11,786	100.0
都市計画区域	9,448	80.2
市街化区域	2,784	29.5
第一種低層住居専用地域	666	23.9
第二種低層住居専用地域	41	1.5
第一種中高層住居専用地域	148	5.3
第二種中高層住居専用地域	106	3.8
第一種住居地域	75	2.7
第二種住居地域	27	1.0
準住居地域	26	0.9
近隣商業地域	55	2.0
商業地域	23	0.8
準工業地域	496	17.8
工業地域	200	7.2
工業専用地域	921	33.1
市街化調整区域	6,664	70.5

資料：各市村調（平成14年4月1日現在）

(2) 道路

国道及び道道の状況では、札幌市と留萌市を結ぶ国道231号を軸に、小樽市と千歳市を結ぶ国道337号が基幹道路となっているとともに、浜益村からは滝川市へ向かう国道451号が延びています。

市村道の状況では、実延長に対する改良率は3市村平均は8割弱となっていますが、厚田村の改良率は5割弱と低い数値を示しています。

表 14 国道・道道の状況

区分	市村名	路線数	総延長 (m)	実延長 (m)	規格改良済延長		
						改良率 (%)	
国 道	石狩市	2	36,963	29,185	29,185	100.0	
	厚田村	1	31,107	31,107	31,107	100.0	
	浜益村	2	74,385	54,790	54,790	100.0	
	計		142,455	115,082	115,082	100.0	
道 道	石狩市	7	44,500	39,900	39,900	100.0	
	厚田村	2	21,700	21,700	21,400	98.6	
	浜益村	1	22,048	-	-	-	
	計		88,248	61,600	61,300	99.5	
	主要地方道	石狩市	2	11,500	6,900	6,900	100.0
		厚田村	1	13,300	13,300	13,100	98.5
		浜益村	1	22,048	-	-	-
		計		46,848	20,200	20,000	99.0
	一般道道	石狩市	5	33,000	33,000	33,000	100.0
		厚田村	1	8,400	8,400	8,300	98.8
		浜益村	-	-	-	-	-
		計		41,400	41,400	41,300	99.8

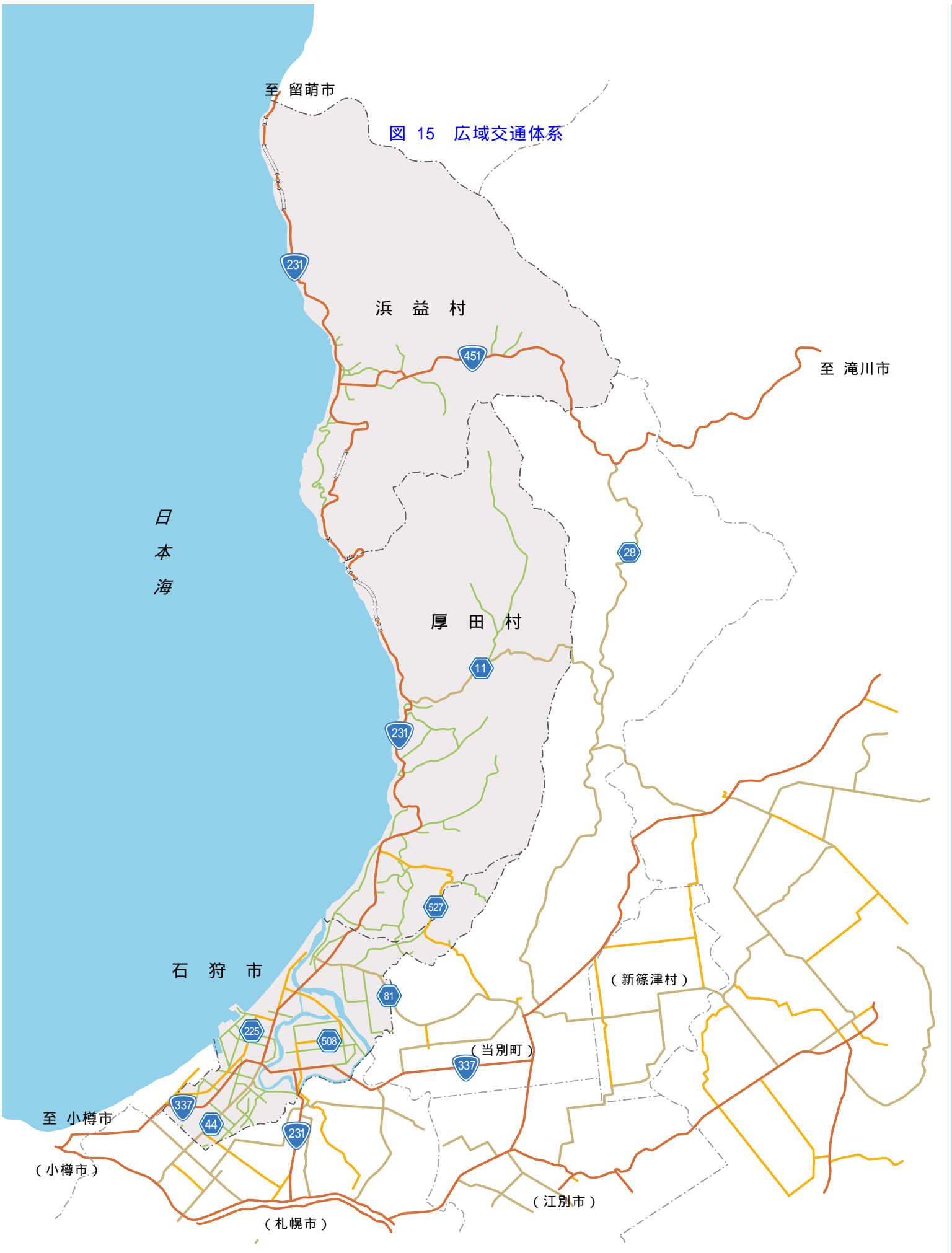
資料：各市村調（平成13年4月1日現在）

表 15 市村道の状況

区分	市村名	路線数	総延長 (m)	実延長 (m)	規格改良済延長	
						改良率 (%)
1 級	石狩市	38	72,141	71,361	67,045	94.0
	厚田村	18	32,435	30,791	28,603	92.9
	浜益村	14	15,514	15,409	12,772	82.9
	計	70	120,090	117,561	108,420	92.2
2 級	石狩市	55	85,719	81,209	64,832	79.8
	厚田村	11	21,507	20,791	10,181	49.0
	浜益村	13	11,301	11,196	10,915	97.5
	計	79	118,527	113,196	85,928	75.9
そ の 他	石狩市	989	383,696	339,455	300,252	88.5
	厚田村	117	122,836	119,655	42,788	35.8
	浜益村	55	42,826	41,841	26,704	63.8
	計	1,161	549,358	500,951	369,744	73.8
計	石狩市	1,082	541,556	492,025	432,129	87.8
	厚田村	146	176,778	171,237	81,572	47.6
	浜益村	82	69,641	68,446	50,391	73.6
	計	1,310	787,975	731,708	564,092	77.1

資料：各市村調（平成14年4月1日現在）

图 15 広域交通体系



5 産業

(1) 農業

3市村の平成11年の農業粗生産高は46億5,300万円となります。内訳では、耕種類41億3,500万円、畜産類5億1,800万円です。耕種類では米が最も多く、次いで野菜となっており、米、野菜の粗生産額が、耕種類全体の約8割を占めています。米、野菜を除く、市村別としては、石狩市の花き、厚田村の工芸農作物、浜益村の果実がそれぞれ他の市村と較べて特徴となっています。また、畜産類では3市村ともに豚が生産されている一方、乳用牛は石狩市及び厚田村で、肉用牛は浜益村で中心的に生産されています。

また、平成12年の3市村の総農家数は771戸で、およそ半数の391戸が石狩市となっています。販売農家¹⁶を専業別にみると、3市村合計で専業農家は228戸(35.7%)、兼業農家では、第1種兼業農家が224戸(35.1%)、第2種兼業農家は187戸(29.3%)と、第1種と第2種を合わせ6割以上が兼業農家である状況です。

表 16 農業粗生産額

単位：百万円

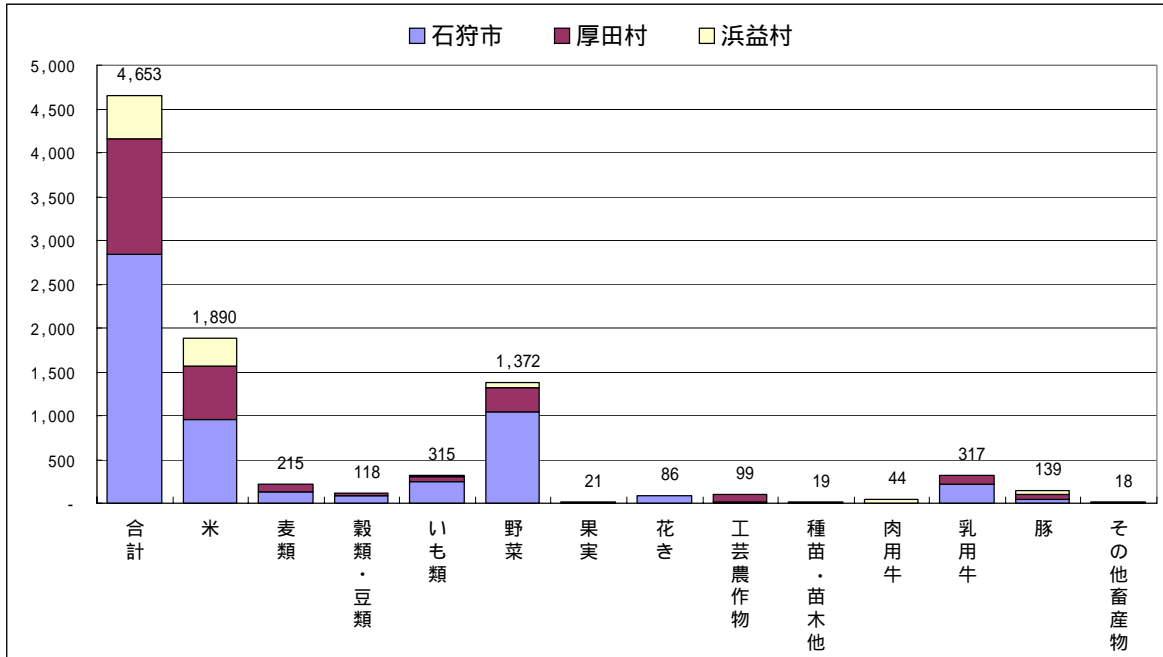
区分		石狩市	厚田村	浜益村	3市村計
総計		2,847	1,306	500	4,653
耕種	計	2,570	1,155	410	4,135
	米	961	609	320	1,890
	麦類	126	89	-	215
	穀類・豆類	94	24	-	118
	いも類	249	56	10	315
	野菜	1,037	285	50	1,372
	果実	-	1	20	21
	花き	85	1	-	86
	工芸農作物	10	89	-	99
	種苗・苗木・その他	8	1	10	19
畜産	計	277	151	90	518
	肉用牛	4	-	40	44
	乳用牛	220	97	-	317
	豚	49	50	40	139
	その他畜産物	4	4	10	18

資料：各市村調（北海道農林水産統計年報：平成11年度版）

¹⁶ 販売農家 経営耕地面積が30a以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

図 16 農業粗生産額（平成11年）

単位：百万円



資料：北海道農林水産統計年報（平成11年度）

表 17 農業の現況

区分	昭和63年	平成2年	平成7年	平成12年	
石狩市	総数（戸）	551	516	447	391 344
	専業農家	213	174	151	130
	第一種兼業農家	154	147	134	119
	第二種兼業農家	184	195	162	95
	農家人口（人）	2,179	1,996	1,628	1,382
	農業従事者数（人）	1,429	1,192	1,476	1,141
厚田村	総数（戸）	276	242	206	187 160
	専業農家	93	87	69	59
	第一種兼業農家	108	81	77	65
	第二種兼業農家	75	74	60	36
	農家人口（人）	1,070	973	769	674
	農業従事者数（人）	725	783	652	545
浜益村	総数（戸）	346	293	256	193 135
	専業農家	82	64	72	39
	第一種兼業農家	67	48	33	40
	第二種兼業農家	197	181	151	56
	農家人口（人）	1,053	860	731	560
	農業従事者数（人）	804	643	653	380
3市村	総数（戸）	1,173	1,051	909	771 639
	専業農家	388	325	292	228
	第一種兼業農家	329	276	244	224
	第二種兼業農家	456	450	373	187
	農家人口（人）	4,302	3,829	3,128	2,616
	農業従事者数（人）	2,958	2,618	2,781	2,066

資料：平成2・7・12年 農業センサス、昭和63年 北海道農業基本調査

注 平成12年の専業農家、兼業農家（第1種、第2種）別の数値は、総農家数のうち販売農家（内書き）についての内訳である。

表 18 農地の推移

年次	石狩市		厚田村		浜益村		3市村合計	
	総戸数 (戸)	経営耕地 面積(ha)	総戸数 (戸)	経営耕地 面積(ha)	総戸数 (戸)	経営耕地 面積(ha)	総戸数 (戸)	経営耕地 面積(ha)
昭和63年	551	3,086	276	1,541	346	547	1,173	5,174
平成2年	516	2,962	242	1,451	293	503	1,051	4,916
平成7年	447	2,856	206	1,615	256	505	909	4,976
平成12年	391	2,503	187	1,319	193	477	771	4,299

資料：平成2・7・12年は農業センサス、昭和63年は北海道農業基本調査

経営耕地面積別では、1.0～3.0haの耕地面積の農家が最も多く、10haを超える農家は全体の2割弱に止まっています。

表 19 農用地

単位：戸

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村合計
農家数計	391	187	193	771
例外規定 ¹⁷	2	-	1	3
0.3～1.0ha	35	15	44	94
1.0～3.0	58	30	46	134
3.0～5.0	59	20	11	90
5.0～7.5	60	28	17	105
7.5～10.0	50	26	5	81
10.0～15.0	41	20	7	68
15.0～20.0	20	5	3	28
20.0～25.0	12	8	1	21
25.0～	7	8	-	15
自給的農家 ¹⁸	47	27	58	132

資料：各市村調（平成12年）

¹⁷ 例外規定 経営耕地面積が30a未満で、調査期日前1年間の農産物販売額が50万円以上あった農家をいう。

¹⁸ 自給的農家 経営耕地面積が30a未満、かつ農産物販売額が50万円未満の農家をいう。

平成12年の農用地の推移は、3市村合計では、4,976ha(平成7年)から4,299ha(平成12年)と677haの減少が見られます。

表 20 種類別耕地面積

単位：戸、ha

区 分	田		畑		樹園地		計	
	戸数	面積	戸数	面積	戸数	面積	面積	
石狩市	昭和63年	446	2,040	445	1,046	1	0	3,086
	平成2年	386	1,945	441	1,017	1	0	2,962
	平成7年	327	1,799	380	1,056	2	1	2,856
	平成12年	283	1,657	322	845	2	0	2,503
厚田村	昭和63年	225	869	255	673	1	0	1,541
	平成2年	198	773	224	677	1	0	1,451
	平成7年	165	777	191	837	2	0	1,615
	平成12年	146	702	163	616	4	1	1,319
浜益村	昭和63年	193	429	304	96	21	22	547
	平成2年	170	410	254	72	18	21	503
	平成7年	153	419	201	64	24	21	505
	平成12年	122	412	144	49	21	17	477
3市村計	昭和63年	864	3,338	1,004	1,815	23	22	5,174
	平成2年	754	3,128	919	1,766	20	21	4,916
	平成7年	645	2,995	772	1,957	28	22	4,976
	平成12年	551	2,771	629	1,510	27	18	4,299

資料：平成2・7・12年は農業センサス、昭和63年は北海道農業基本調査

(2) 林業

3市村の林野面積の合計は、49,971haであり、総土地面積のおよそ7割を占めています。その林野のほとんどは、厚田村、浜益村に存在しています。49,971haの林野のうち、2,724ha(5.5%)が保有山林¹⁹となっています。

3市村の林家数は433戸で、保有山林の面積規模別では、全体の約8割が10ha未満の林家となっています。

表 21 林野面積

	総土地面積	林野面積	林野率 (%)
石狩市	11,766	1,717	14.6
厚田村	29,284	21,634	73.9
浜益村	31,115	26,620	85.6
合計	72,165	49,971	69.3

資料：農林業センサス（平成12年）

表 22 林家数及び保有山林規模別林家数

	林家数 (戸)	内訳		規模別林家数(戸)								保有 山林 面積
		農家 林家 ²⁰	非農家 林家 ²¹	1 ~ 3 ha	3 ~ 5	5 ~ 10	10 ~ 20	20 ~ 30	30 ~ 50	50 ~ 100	100ha 以上	
石狩市	149	49	100	47	22	46	22	10	2	-	-	1,083
厚田村	107	77	30	37	29	23	10	3	4	1	-	740
浜益村	177	85	92	89	36	34	12	4	1	1	-	901
合計	433	211	222	173	87	103	44	17	7	2	-	2,724

資料：農林業センサス（平成12年）

表 23 林産物販売林家数

	保有山林 3ha以上の 林家数(戸)	内 訳	
		販売なし	販売した林家
石狩市	102	100	2
厚田村	70	70	-
浜益村	88	88	-
合計	260	258	2

資料：農林業センサス（平成12年）

¹⁹ 保有山林 林家世帯が単独で経営できる山林。

²⁰ 農家林家 林家のうち、農家である世帯（経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯及び1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯）をいう。

²¹ 非農家林家 林家のうち、農家以外の世帯。

(3) 水産業

平成12年には、3市村合計で4,491tの漁獲高があり、前年比209t(4.9%)の増加となっています。生産額では、17億7,700万円となり、前年比2億円(12.7%)の増加となっています。3市村の魚種別生産量では、さけ・ますを中心とした魚類が最も多く、全体の約6割を占め、次いで貝類(ほたて稚貝・半成貝を含む。)、水産動物(いか・たこ等)の順となっています。また、生産額においても魚類が最も多く、全体の6割を超える生産額を示しています。なお、市村別の特徴的な魚種としては、石狩市においては、しゃこ、ほっき貝、えぞばかがい、厚田村においては、にしん、はたはた、たこ、浜益村における、たこ、なまこ、ほたて貝などがあげられます。さらに、厚田村、浜益村においては、ほたて貝の稚貝・半成貝の生産が多くなっています。

平成11年から平成12年における漁業経営体の推移には、大きな変動はみられません。また、3市村内では、厚田村の厚田漁港、古潭漁港、浜益村の幌魚漁港、浜益漁港、濃昼漁港の5漁港が設置されています。

表 24 魚種別漁業生産の推移(数量)

単位：t

	年次	魚類	水産動物	貝類	海藻類	ほたて稚貝 ・半成貝	総計
石狩市	平成9年	1,215	27	153	-	-	1,395
	平成10年	659	28	144	-	-	831
	平成11年	918	38	140	-	-	1,097
	平成12年	1,053	40	107	-	-	1,200
	対前年増減	135	2	33	-	-	103
厚田村	平成9年	1,204	41	19	30	607	1,898
	平成10年	1,166	56	22	6	540	1,789
	平成11年	997	58	11	8	557	1,632
	平成12年	970	73	32	5	511	1,591
	対前年増減	27	15	21	3	46	41
浜益村	平成9年	585	139	271	1	659	1,655
	平成10年	820	175	72	2	743	1,812
	平成11年	568	148	82	0	756	1,553
	平成12年	647	106	205	2	740	1,700
	対前年増減	79	42	123	2	16	147
3市村	平成9年	3,004	207	443	31	1,266	4,948
	平成10年	2,645	259	238	8	1,283	4,432
	平成11年	2,483	244	233	8	1,313	4,282
	平成12年	2,670	219	344	7	1,251	4,491
	対前年増減	187	25	111	1	62	209

資料：石狩支庁「石狩の水産」

表示単位未満調整のため、計数との不突合箇所あり。

表 25 魚種別漁業生産の内訳（数量）

単位：t

	魚 類						水 産 動 物					
	さけ・ ます	ひらめ	かれい	にしん	はたはた	その他	いか類	たこ	なまこ	うに	しゃこ	その他
石狩市	933	35	46	12	2	24	14	6	2	-	18	0
厚田村	737	37	62	48	70	16	35	21	3	0	6	8
浜益村	493	29	25	26	17	57	3	65	34	4	0	0
合計	2,163	101	133	86	89	97	52	92	39	4	24	8

	貝 類					海 藻 類		ほたて稚貝等	
	ほたて 貝	ほっき 貝	えぞば かがい	いがい	その他	こんぶ	その他	稚貝	半成貝
石狩市	-	80	24	2	1	-	-	-	-
厚田村	22	8	1	1	0	5	0	324	187
浜益村	193	0	0	12	0	2	0	537	203
合計	215	88	25	15	1	7	0	861	390

資料：石狩支庁「石狩の水産」（平成12年）

表示単位未満調整のため、表24の計数との不突合箇所あり。

表 26 魚種別漁業生産の推移（金額）

単位：百万円

	年次	魚類	水産動物	貝類	海藻類	ほたて稚貝 ・半成貝	総計
石狩市	平成 9 年	306	47	68	-	-	421
	平成 10 年	186	37	60	-	-	283
	平成 11 年	298	55	59	-	-	411
	平成 12 年	408	49	44	-	-	502
	対前年増減	111	6	15	-	-	91
厚田村	平成 9 年	296	49	7	27	144	523
	平成 10 年	349	63	8	5	137	562
	平成 11 年	388	61	4	10	140	603
	平成 12 年	447	58	8	6	118	637
	対前年増減	59	3	4	4	22	34
浜益村	平成 9 年	197	93	58	1	192	542
	平成 10 年	268	151	20	1	219	659
	平成 11 年	234	94	20	0	214	562
	平成 12 年	295	91	41	1	209	637
	対前年増減	61	3	21	1	5	75
3 市村	平成 9 年	800	189	134	28	335	1,486
	平成 10 年	803	251	88	6	356	1,504
	平成 11 年	920	210	83	11	354	1,577
	平成 12 年	1,151	199	93	7	327	1,777
	対前年増減	231	11	11	4	27	200

資料：石狩支庁「石狩の水産」

表示単位未満調整のため、計数との不突合箇所あり。

表 27 魚種別漁業生産の内訳（金額）

単位：百万円

	魚 類						水 産 動 物					
	さけ・ ます	ひらめ	かれい	にしん	はたはた	その他	いか類	たこ	なまこ	うに	しゃこ	その他
石狩市	319	51	15	10	2	12	4	3	1	-	41	0
厚田村	259	43	26	41	72	5	12	13	2	4	12	15
浜益村	169	45	17	24	18	23	1	28	26	36	1	0
合計	747	139	58	75	92	40	17	44	29	40	54	15

	貝 類					海 藻 類		ほたて稚貝等	
	ほたて 貝	ほっき 貝	えぞば かがい	いがい	その他	こんぶ	その他	稚貝	半成貝
石狩市	-	29	14	1	0	-	-	-	-
厚田村	5	3	0	0	0	6	0	76	42
浜益村	28	0	0	7	6	1	0	164	45
合計	33	32	14	8	6	7	0	240	87

資料：石狩支庁「石狩の水産」（平成12年）

表示単位未満調整のため、表26の計数との不突合箇所あり。

表 28 漁業経営体の推移

単位：経営体

	年次	計	漁船 非使用	漁船漁業			大型 定置網	小型 定置網	ほたて がい養殖	地びき網
				1t 未満	1～5t	5t 以上				
石狩市	平成 9 年	54	2	38	8	-	1	4	-	1
	平成 10 年	55	-	37	8	-	2	8	-	-
	平成 11 年	43	5	29	8	-	1	-	-	-
	平成 12 年	43	5	29	8	-	1	-	-	-
厚田村	平成 9 年	57	-	34	8	1	9	1	4	-
	平成 10 年	66	1	28	6	2	25	1	3	-
	平成 11 年	49	-	26	9	1	8	2	3	-
	平成 12 年	49	-	26	9	1	8	2	3	-
浜益村	平成 9 年	70	-	38	21	3	3	-	5	-
	平成 10 年	70	-	38	18	4	4	1	5	-
	平成 11 年	61	-	32	18	3	3	-	5	-
	平成 12 年	61	-	32	18	3	3	-	5	-
3 市村	平成 9 年	181	2	110	37	4	13	5	9	1
	平成 10 年	191	1	103	32	6	31	10	8	-
	平成 11 年	153	5	87	35	4	12	2	8	-
	平成 12 年	153	5	87	35	4	12	2	8	-

資料：石狩支庁「石狩の水産」（平成12年）

(4) 商業

商業統計調査から、3市村の商店数は平成3年から平成11年の間に卸売業・小売業あわせて13戸減少し、平成11年では448戸となっています。

販売額において、石狩市では、多少の増減はあるものの、平成3年と平成11年との比較では増加してきていることがうかがえます。また、平成11年では、全商店の販売額の約8割を卸売業が占めています。

表 29 3市村の商業

単位：店、人、万円

		種類	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年
商店数(店)	石狩市	卸売	103	109	122	116
		小売	267	271	273	256
		計	370	380	395	372
	厚田村	卸売	1	-	-	-
		小売	36	31	29	31
		計	37	31	29	31
	浜益村	卸売	1	1	1	3
		小売	53	49	50	42
		計	54	50	51	45
	3市村	卸売	105	110	123	119
		小売	356	351	352	329
		計	461	461	475	448
従業者数(人)	石狩市	卸売	1,438	2,001	2,517	2,012
		小売	1,551	1,949	2,193	2,312
		計	2,989	3,950	4,710	4,324
	厚田村	卸売		-	-	-
		小売		89	98	104
		計		89	98	104
	浜益村	卸売				
		小売			124	
		計		130		
販売額(万円)	石狩市	卸売	8,648,447	11,764,898	19,294,757	14,240,466
		小売	2,653,900	3,122,383	3,901,377	3,670,835
		計	11,302,347	14,887,281	23,196,134	17,911,301
	厚田村	卸売		-	-	-
		小売		165,728	168,317	150,956
		計		165,728	168,317	150,956
	浜益村	卸売				
		小売			130,274	
		計			130,274	
1商店当たりの販売額	石狩市	卸売	83,966	107,935	158,154	122,763
		小売	9,940	11,522	14,291	14,339
	厚田村	小売		5,346	5,804	4,870
浜益村	小売			2,605		
従業員1人当たりの販売額	石狩市	卸売	6,014	5,880	7,666	7,078
		小売	1,711	1,602	1,779	1,588
	厚田村	小売		1,862	1,718	1,452
		小売			1,051	
	浜益村	小売			1,051	

資料：商業統計

表中「 」については、統計上数値が秘匿されているもの。

(5) 工業

3市村の工業は、石狩市に集中しており、平成13年では石狩市で事業所数146所、従業員数3,957人、製造品出荷額等が約827億2千万円となっています。

近年の傾向では、平成9年以降、平成10年に対前年約33億8千万円の落ち込み、平成11年は約6億8千万円の増加、平成12年は22億円の減少となっており、同様に、事業所数、従業者数の推移ともに各年においてばらつきがあります。

なお、厚田村においては、従業者4人以上の事業所はなく、浜益村においては、従業者4人以上が3事業所で推移しています。

表 30 3市村の工業

単位：所、人、万円

項 目	従業者数区分	石狩市				
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
事業所数（所）	4～29人	117	119	112	106	113
	30～299	39	38	41	38	33
	300人以上	-	1	-	-	-
	合計	156	158	153	144	146
従業者数（人）		3,955	4,035	4,108	3,969	3,957
製造品出荷額等（万円）		8,483,423	8,145,482	8,213,201	7,993,096	8,271,761
1事業所当りの製造品出荷額等		54,381	51,554	53,681	55,508	56,656
従業者1人当りの製造品出荷額等		2,145	2,019	1,999	2,014	2,090

項 目	従業者数区分	厚田村				
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
事業所数（所）	4人以上	-	-	-	-	-
従業者数（人）		-	-	-	-	-
製造品出荷額等（万円）		-	-	-	-	-
1事業所当りの製造品出荷額等		-	-	-	-	-
従業者1人当りの製造品出荷額等		-	-	-	-	-

項目	従業者数区分	浜益村				
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
事業所数（所）	4人以上	3	3	3	3	3
従業者数（人）						46
製造品出荷額等（万円）						57,286
1事業所当りの製造品出荷額等						19,095
従業者1人当りの製造品出荷額等						1,245

資料：工業統計

表中「 」については、統計上数値が秘匿されているもの。

(6) 観光

過去5年間における3市村の観光客は、平成11年度の約250万人をピークに、毎年200万人台が3市村地域を訪れていることがわかります。宿泊客、日帰り客の別では、例年9割以上が日帰り客となっており、日帰り型の観光が定着していることがうかがえます。また、道内客、道外客の別では、平成13年度、道外客は全体の4%に過ぎず、ほとんどが道内客であり、近隣他市町村からの入込み客であると推測されます。

表 31 観光入込客数の推移

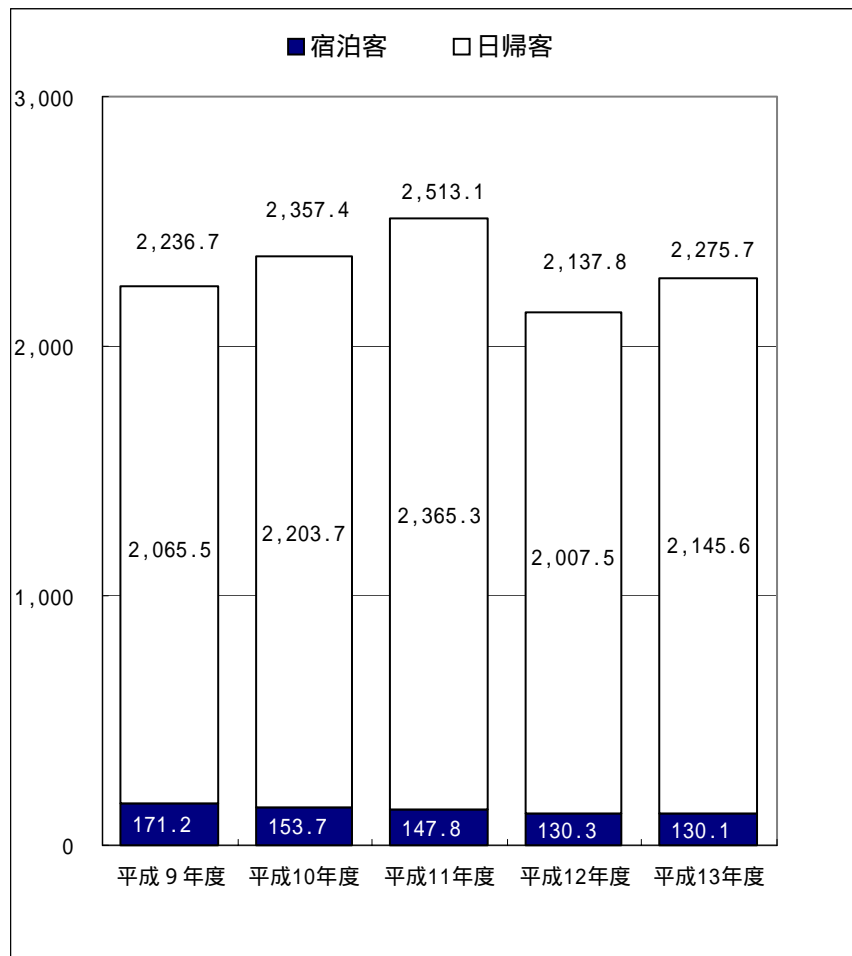
単位：千人

区分		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	
石狩市	入込総数	1,250.0	1,272.0	1,367.0	1,169.7	1,274.9	
	宿泊・日帰りの別	宿泊客	25.0	25.0	27.0	24.0	24.1
		日帰り客	1,225.0	1,247.0	1,340.0	1,145.7	1,250.8
	道内・道外の別	道内客	1,238.0	1,259.0	1,353.0	1,157.9	1,223.0
		道外客	12.0	13.0	14.0	11.8	51.9
厚田村	入込総数	469.0	560.9	576.9	505.7	513.0	
	宿泊・日帰りの別	宿泊客	2.7	6.1	5.0	4.9	5.1
		日帰り客	466.3	554.8	571.9	500.8	507.9
	道内・道外の別	道内客	464.3	555.5	571.2	500.5	477.4
		道外客	4.7	5.4	5.7	5.2	35.6
浜益村	入込総数	517.7	524.5	569.2	462.4	487.8	
	宿泊・日帰りの別	宿泊客	143.5	122.6	115.8	101.4	100.9
		日帰り客	374.2	401.9	453.4	361.0	386.9
	道内・道外の別	道内客	513.9	520.4	564.2	458.8	484.0
		道外客	3.8	4.1	5.0	3.6	3.8
3市村計	入込総数	2,236.7	2,357.4	2,513.1	2,137.8	2,275.7	
	宿泊・日帰りの別	宿泊客	171.2	153.7	147.8	130.3	130.1
		日帰り客	2,065.5	2,203.7	2,365.3	2,007.5	2,145.6
	道内・道外の別	道内客	2,216.2	2,334.9	2,488.4	2,117.2	2,184.4
		道外客	20.5	22.5	24.7	20.6	91.3

資料：平成13年度北海道観光入込客数調査（北海道経済部）、各市村調

図 17 宿泊客・日帰り客別の推移

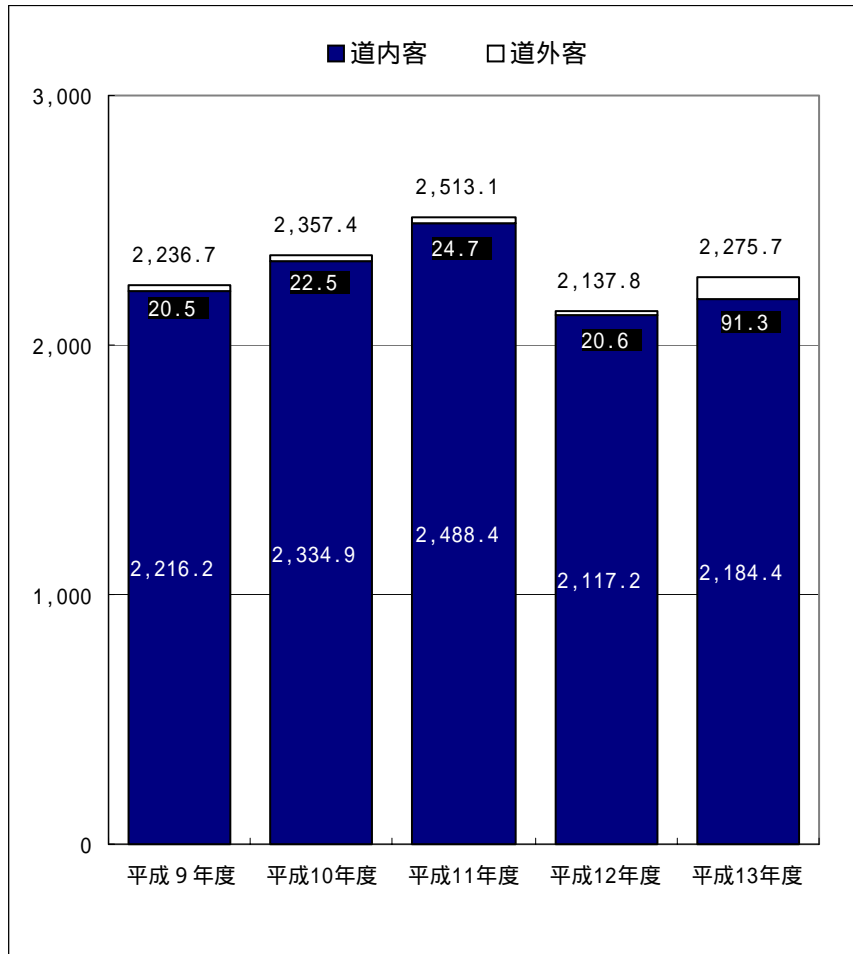
単位：千人



資料：平成13年度北海道観光入込客数調査（北海道経済部）、各市村調

図 18 道内・道外客別の推移

単位：千人



資料：平成13年度北海道観光入込客数調査（北海道経済部）、各市村調

表 32 主な観光資源

<石狩市>

ハマナスの丘公園	日本海と石狩川の交わりに形成された1,500メートルにおよぶ砂しに広がる公園。約46ヘクタールの公園には150種に及ぶ海浜植物が自生し、このうち16.5ヘクタールは石狩市海浜植物保護地区に指定されている。6月下旬から7月上旬にかけてハマナスが咲き、春から秋にかけてイソスミレ、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、エゾスカシユリ、コガネギクなど多くの花を見ることができる。
石狩灯台	1895年（明治25）の開設以来、100年以上の歴史を誇る石狩のシンボル。ハマナスの丘公園の入口に建っている。
石狩浜海浜植物保護センター	石狩浜は道内でも屈指の海浜植物の宝庫である。貴重な海浜植物を市民共有の財産として次の世代に残すため、植物の保護や、情報の提供などを行う市民活動の拠点として建設された。海浜植物をパネルやビデオで紹介する展示スペースや見本園を見学することができる。
ミズバショウの群生	石狩川河口上流のマクンベツ湿原（約40ヘクタールの湿地帯では4月下旬から5月のはじめにかけて、まだ葉をつけていないハンノキの木立の間に、ミズバショウが花を咲かせる。
あそびーち石狩（石狩浜海水浴場）	毎年7月上旬から8月下旬にかけて数十万人もの海水浴客が訪れる海水浴場で、近くには温泉や地ビール館がある。
無辜の民（むこのたみ）	北海道が生んだ世界的彫刻家・本郷新氏（1905年～1980年）の代表作の一つ。この地を開拓した人々を想い製作されたもので、台座には「この地に生き、この地に埋もれし数知れぬ無辜の民の霊に捧ぐ」と刻まれている。
郷土資料室	史時代の資料を中心に、開拓期にいたるまでのさまざまな資料を展示。特に縄文晩期から続縄文末期までの墳墓出土の資料は同時期の北海道を代表するものとして名高い。石狩川の主と伝えられるチョウザメの剥製や、かつて石狩にあった日本初の西洋式缶詰工場で作られた鮭缶などがある。
石狩弁天社	創立1694年（元禄7）、鮭の豊漁を願って建てられた300年の歴史を誇る市内最古の建物。代々の石狩場所請負人などによって信仰され、かつては現在の八幡神社の場所に河口を向いて建っていましたが、明治7年八幡神社が八幡町から役所があり商店の多い本町地区に移ってきた際に現在の場所に移転した。八幡神社にある鳥居は、もともと弁天社に奉納されたもので、「海上安全」の文字が刻まれている。主神は弁天様のほかに、石狩川の主を神格化「妙亀法鮫」通称サメ様が奉られている。
石狩八幡神社	石狩が幕府の直轄地となった後の1858年（安政5）、函館総社八幡宮の神主、菊池重賢が同八幡宮の末社を造立し、蝦夷総鎮守として建立された由緒ある神社。
尚古社	鮭漁に沸いた明治から昭和の初期にかけて繁盛した中島呉服店。当時の社主らは1856年に俳句結社「石狩尚古社」を結成して全国各地と交流するとともに、中島家に多くの俳句資料と収集した書画などを残した。4代目にあたる中島勝久氏が、蔵に眠っていた膨大な資料を整理し、私費を投じて作った資料館がこの「尚古社」
弁天歴史公園	漁業で栄えてきた石狩のシンボルとしてとして、石狩医院跡に弁天歴史通りと一体的に、作られた公園。 楽山居（旧石狩医院の和室を昭和12年の建築当時の姿に再生）、先人たちの碑（石狩の歴史を築き上げた先人の苦労をたたえた碑）、運上屋棟（この辺りにあったとされる運上屋を縮小し、現代風に再現したもの）、の他にバザール広場・野外集会スペースなどがある。
川の博物館	体験学習のできる、川についての博物館
ゴルフ場	市内には、茨戸カントリークラブ、石狩市生振、スコットヒルゴルフクラブ、ザ・クラブシェイクスピアサッポロ、札幌ベイゴルフ倶楽部の4つのゴルフ場がある。

<厚田村>

ルーラン海岸	厚田村の北端。長年の波・風により浸食され、特異な断崖絶壁の海岸線が続く国道231号沿いのルーラン海岸は、平成2年に指定された暑寒別天売焼尻国定公園の一部。
義経の涙岩	ルーラン海岸でひととき目を引く岩壁が義経の涙岩。磯舟が通り抜けできるほどの洞窟になっており、衣川の戦いで破れ逃れてきた源義経が、この地で酒を飲みながら静御前のことを思い、涙したという伝説が残っている。
厚田漁港	季節によっていろいろな魚介類が揚げられ、活気に満ちあふれる朝市が名物。厚田公園からも漁港を望むことができる。
厚田公園	日本海を一望できる展望台、戸田城聖の復元された生家、その他スキー場やキャンプ場等の施設がある。また、公園管理センターには厚田出身の人物ゆかりの品々が展示され、郷土資料室となっている。
戸田記念墓地公園	厚田村出身の創価学会第2代会長戸田城聖を記念するメモリアルパーク。桜の名勝地であり、ナナカマドの紅葉も名物となっている。
海水浴場	厚田沿岸には8つの海水浴場が点在し、札幌市から近いこともあり家族連れが多いのが特徴である。
ゴルフ場	村内聚富・望来地区には4つのゴルフ場がある。

<浜益村>

わし岩 (愛冠岬)	愛冠(アイカップ)海岸の先端の一羽の大鷲が翼を休める姿をした奇岩。
毘砂別展望台	暑寒別天売焼尻国定公園のエリアの展望台。暑寒別や、日本海の海岸、水平線上の天売・焼尻島、利尻島などが展望できる。
毘砂別海水浴場	毘砂別にある海水浴場で、開設期間は7月上旬～8月中旬。
海浜公園	札幌から1時間30分の距離にあり、川下海水浴場に隣接した公園。キャンプ場などが整備されている。
川上海水浴場	年間30万人もの海水浴客でにぎわう道央でも人気の海水浴場。
郷土資料館	元白鳥家が経営していた鱈建網漁場の番屋であり、明治32年に建てられたものを、昭和46年、開村百年の記念事業の一環として復元、浜益村郷土資料館として現代によみがえらせた。館内には、当時鱈漁に使われた漁具をはじめとする、先人の知恵や技術を伝える数々の資料が保存、展示されている。
雄冬岬	暑寒連峰の最先端が日本海に没する断崖絶壁。
白銀(しらがね)の滝	国道231号線の開通記念碑が建てられている場所にある滝。
史跡荘内藩 ハマシケ陣屋跡	安政6(1859)年、幕府から警護を命ぜられた荘内藩は、現在の川下地区を開拓し、十余棟の邸舎を建て、それを御陣屋と称していた。この跡が今も川下神社横に残り、昭和63年5月に国指定の史跡となった。指定地内には、邸舎跡を示す木柱がある。
黄金(こがね)山	村の象徴ともいえる秀峰黄金山は標高約740mで、その姿から「黄金富士」「浜益富士」と呼ばれている。初心者でも好適の登山コースである。
やまべつりぼり	逆川からの清流を活かしたやまべの釣り堀。釣ったやまべをその場で調理するバーベキューハウスもある。
浜益温泉	神経痛や筋肉痛などの効能がある温泉。露天風呂、パイプバス、サウナなどがある。隣にはパークゴルフ場もある。
千本ナラ	送毛山道頂上付近にあるナラの大木。「新日本名木100選」に選定されている樹齢820年(推定)、直径2m、樹高30m級

(7) 港湾物流特区、リサイクルポートの指定

この春（4月21日）、「特区」第1号の認定として、石狩湾新港地域の「港湾物流特区」が道内で唯一、内閣総理大臣から認定されています。（今回の「特区第1号」は全国で57件。）

この「構造改革特区」とは、特定の地域に限って規制を緩め、低迷する経済の活性化、地方の自立を目指す試みで、今回認定となった「港湾物流特区」では、港と新港内の工場とを結ぶ陸上輸送の効率化を目的とした車両総重量の規制緩和が認められたものです。

また、4月23日には、廃棄物を活用する新たな物流ネットワークの核となる存在として、循環型社会の実現に向けた拠点としての重要な役割を担うため、総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）として国土交通省から指定されています。

6 都市基盤・生活環境

(1) 水道

3市村の水道の整備状況は次のとおりとなっています。石狩市と厚田村の一部では上水道が供用されています。また、厚田村及び浜益村では、簡易水道が供給されています。

石狩市では、平成10年から、第7次拡張計画で、市内全域と厚田村の一部を対象とする事業を進めています。また、厚田村は平成12年度から生活基盤近代化事業に着手し水量の増産を目指しています。

表 33 水道の普及状況

	石 狩 市		厚 田 村	浜 益 村	3市村計
		厚田村の一部			
行政区域内人口（H14.3.31）	55,526		2,949	2,293	60,768
上水道	箇所数	1	-	-	1
	給水人口（人）	54,283	487	-	54,770
簡易水道	箇所数	-	-	1	2
	給水人口（人）	-	-	2,346	4,591
合計	箇所数	1	1	1	3
	給水人口（人）	54,283	2,833	2,245	59,361
普及率（%）	97.7		96.1	97.9	97.7

資料：各市村調

厚田村の一部地域（虹が原団地）については、石狩市から供給されている。

表 34 水道料金

	石 狩 市	厚 田 村	浜 益 村	
基本料金	13mm（7㎡まで）1,300円	13mm（5㎡まで）1,200円	一般用（8㎡まで）1,820円 営業用（20㎡まで）4,550円 団体用（50㎡まで）11,370円	
	20mm（7㎡まで）1,600円	20mm（7㎡まで）1,680円		
	25mm 4,300円	25mm（10㎡まで）2,400円		
	30mm 6,800円	30mm（15㎡まで）3,900円		
	40mm 10,900円	40mm（20㎡まで）5,200円		
	50mm 20,500円	50mm（25㎡まで）6,500円		
	75mm 34,200円	75mm（50㎡まで）13,000円		
	100mm 68,500円	100mm（1,200㎡まで）		
		（税別）		312,000円
	従量料金	13mm（8㎡以上）170～270円		1㎡増すごとに 260円
20mm（8㎡以上）210～280円				
25、30mm 320～520円				
40、50mm 390～590円				
75、100mm 540～640円 （各1㎡当たり・税別）				
（参考） 一般家庭用 （13mm）の 水道料金 （税込）	10㎡ 1,900円	2,500円	2,270円	
	15㎡ 2,898円	3,800円	3,395円	
	20㎡ 4,315円	5,100円	4,520円	
	30㎡ 7,150円	7,700円	6,770円	
	40㎡ 9,985円	10,300円	9,020円	
	50㎡ 12,820円	12,900円	11,270円	

資料：各市村調（平成15.4.1現在）

(2) 下水道

3市村の公共下水道整備計画では、事業認可されている面積は全体で1,202haで、総面積の2%弱です。事業認可面積の95.1%が石狩市、4.9%が厚田村となっています。総人口に対する下水道事業の実施区域人口の割合（普及率）は、石狩市では92.0%と9割を超えていますが、厚田村・浜益村では現在のところ未普及であるため、3市村では84.0%となります。

なお、厚田村では第1期の供給開始を15年度に目指すなど、整備計画が進められています。

表 35 下水道の普及状況

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計
総人口（H14.3.31）	55,526	2,949	2,293	60,768
行政区域面積（ha）	11,786	29,283	31,115	72,184
事業認可面積（ha）	1,143	59	-	1,202
事業認可面積の 全体に対する割合（%）	9.7	0.2	-	1.7
事業実施区域面積（ha）	1,034	平成15年度 供用開始予定	-	1,034
事業区域人口（人）	51,072		-	51,072
普及率（%）	92.0		-	84.0

資料：各市村調（平成13年度）

(3) ごみ処理

3市村の可燃ごみ・不燃ごみ及び粗大ごみについては、北石狩衛生施設組合において処理がされており、可燃ごみの焼却灰はキレート固化し最終処分場で処分されています。3市村全体におけるごみ処理量では、平成13年度は前年度に比べ約930t、4.2%減少しています。また、石狩市では、市全域の資源ごみを収集し、石狩市リサイクルプラザにおいて再生処理を行っています。

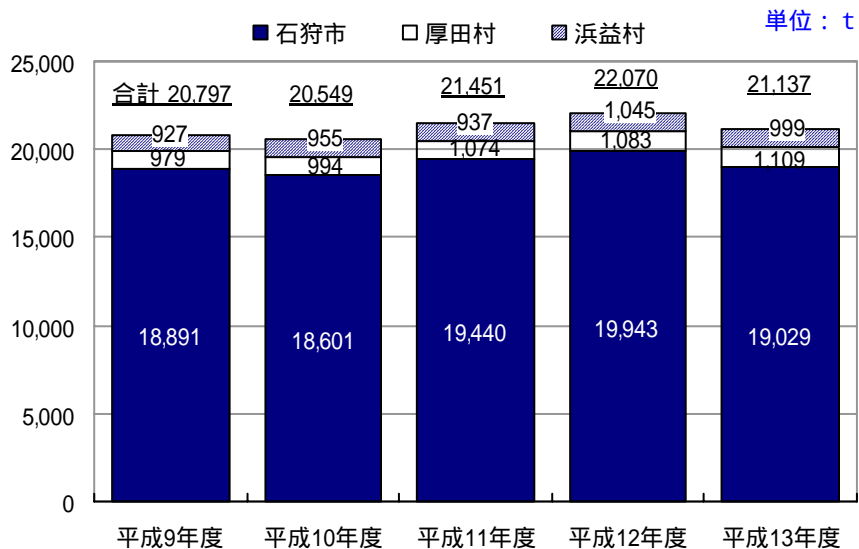
表 36 ごみ処理（可燃・不燃・粗大）の状況

単位：t

項目	石 狩 市			厚 田 村			浜 益 村			3市村 合計	
	委託分	直接 搬入分	合計	委託分	直接 搬入分	合計	委託分	直接 搬入分	合計		
平成9年度	可燃	13,037	2,616	15,654	698	109	807	707	2	709	17,170
	不燃	2,121	258	2,379	113	17	130	182	3	185	2,694
	粗大	788	70	858	35	8	43	32	1	33	934
	合計	15,947	2,944	18,891	846	134	979	920	6	927	20,797
平成10年度	可燃	12,329	3,115	15,444	696	122	818	720	4	723	16,985
	不燃	2,167	127	2,294	116	22	138	186	1	187	2,619
	粗大	813	51	863	29	9	37	30	14	44	945
	合計	15,309	3,292	18,601	841	153	994	936	19	955	20,549
平成11年度	可燃	12,721	3,169	15,891	720	139	859	692	3	695	17,444
	不燃	2,298	224	2,522	148	25	173	184	2	185	2,880
	粗大	984	43	1,027	38	4	42	51	6	57	1,127
	合計	16,003	3,436	19,440	906	168	1,074	927	10	937	21,451
平成12年度	可燃	12,824	3,598	16,421	741	143	883	726	64	791	18,095
	不燃	2,084	203	2,287	133	21	154	188	1	190	2,631
	粗大	1,194	40	1,234	39	6	45	61	4	65	1,344
	合計	16,101	3,841	19,943	913	170	1,083	976	70	1,045	22,070
平成13年度	可燃	12,510	3,524	16,034	758	144	902	699	72	771	17,708
	不燃	1,921	146	2,067	142	27	169	180	2	182	2,418
	粗大	884	43	927	27	11	38	39	6	46	1,011
	合計	15,316	3,713	19,029	928	182	1,109	919	80	999	21,137

資料：各市村調 燃やせないごみは不燃に含む。表示単位未満調整のため、合計が合わない箇所がある。

図 19 ごみ処理量（可燃・不燃・粗大）の推移



資料：各市村調

表 37 ごみ収集体制

ごみの種類	項目	石 狩 市	厚 田 村	浜 益 村
可燃ごみ	収集対象人員	全市民	全村民	全村民
	収集区域	全域	全域	全域
	収集率	100%	100%	100%
	収集体制	組合が民間委託	組合が民間委託	組合が民間委託
	収集方式及び回数	ステーション市街地週2回 その他週1回	ステーション週2回	ステーション週2回
	焼却施設	北石狩衛生センターゴミ処理施設180t/24H(平成5年12月竣工)		
	最終処分方法	焼却灰をキレート固化し最終処分場へ搬出		
不燃ごみ	収集対象人員	全市民	全村民	全村民
	収集区域	全域	全域	全域
	収集率	100%	100%	100%
	収集体制	組合が民間委託	組合が民間委託	組合が民間委託
	収集方式及び回数	ステーション市街地 週2回 その他 月1回	ステーション 週1回	ステーション 週1回
	処理施設 (処理方法)	北石狩衛生センター粗大ごみ処理施設40t/5H(平成5年12月竣工)		
	最終処分方法	不燃残渣は最終処分場へ搬出 鉄・アルミ缶は民間業者が引取り		
資源ごみ	収集対象人員	全市民	全村民	全村民
	収集区域	全域	全域	全域
	収集率	100%		
	収集体制	集団収集 町内会等が民間委託 ステーション 市が民間委託	厚田はまなす園	廃品回収業者
	収集方式及び回数	集団収集：不定期 ステーション：週1回	週1回	不定期
	瓶・缶・PETの処理 施設	石狩市リサイクルプラザ	民間業者	民間業者
	再生処理方法	直営	民間業者	民間業者
乾電池	収集対象人員	全市民	全村民	全村民
	収集区域	全域	全域	全域
	収集体制	回収ボックス	回収ボックス	回収ボックス
	収集方法及び回数	2ヶ月に1回	不定期	不定期
	最終処分方法	組合が民間委託	組合が民間委託	組合が民間委託

資料：各市村調

7 教育・文化

(1) 幼稚園

幼稚園の設置は石狩市のみで、公立・私立を合わせた総数は6園、27クラスと
なっています。1クラス当たりの園児数は約22人となっています。

表 38 幼稚園の整備状況

単位：園、クラス、人

		石狩市	厚田村	浜益村
公立	幼稚園数	1	-	-
	クラス数	3	-	-
	園児数	67	-	-
	教職員数	6	-	-
私立	幼稚園数	5	-	-
	クラス数	24	-	-
	園児数	539	-	-
	教職員数	49	-	-
合計	幼稚園数	6	-	-
	クラス数	27	-	-
	園児数	606	-	-
	教職員数	55	-	-

資料：各市村調（平成14年5月1日現在）

(2) 小学校

平成14年5月1日現在、3市村の小学校は14校、普通学級、特殊学級合わせて140学級となっています。石狩市の児童数は全体の約94%で、1学級当たりの児童数は石狩市約28人、厚田村約8人、浜益村約11人です。また、平成15年4月から、石狩市には緑苑台小学校が開校しています。

なお、給食の実施状況については、3市村の全ての小学校及び中学校において完全給食を実施しており、各市村にそれぞれ学校給食センターが設置されています。

表 39 小学校の状況

単位：校、学級、人

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計	
学 校 数	9	4	1	14	
学級数	普通学級	108	16	6	130
	特殊学級	8	1	1	10
児童数	3,248	138	80	3,466	
教職員数	208	36	12	256	
学校医数	9	1	1	11	
学校歯科医数	9	-	1	10	
学校薬剤師数	9	-	1	9	
給食実施状況	完全給食 (給食センター)	完全給食 (給食センター)	完全給食 (給食センター)		
1学級当たり児童数	28.0	8.1	11.4	24.8	

資料：各市村調（平成14年5月1日現在）

表 40 学校施設の規模（面積）

単位：m²

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計
校舎延面積	39,159	4,963	1,699	45,821
屋内体育館	8,101	2,063	627	10,791
敷地延面積	218,649	65,641	14,655	298,945

資料：各市村調（平成14年5月1日現在）

(3) 中学校

3市村の中学校は9校、普通学級、特殊学級合わせて72学級、生徒数1,992人となっています。石狩市の生徒数は全体の約93%であり、1学級当たりの生徒数は石狩市約31人、厚田村約9人、浜益村約16人です。

表 41 中学校の状況

単位：校、学級、人

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計
学 校 数	5	3	1	9
学級数	普通学級	9	3	66
	特殊学級	5	1	6
生徒数	1,851	94	47	1,992
教職員数	138	34	12	184
学校医数	5	1	1	7
学校歯科医数	5	-	1	6
学校薬剤師数	5	-	-	5
給食実施状況	完全給食 (給食センター)	完全給食 (給食センター)	完全給食 (給食センター)	
1学級当たり生徒数	31.4	9.4	15.7	27.7

資料：各市村調（平成14年5月1現在）

表 42 学校施設の規模（面積）

単位：m²

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計
校舎延面積	25,400	3,687	1,564	30,651
屋内体育館	6,070	1,478	602	8,150
敷地延面積	163,270	39,293	24,867	227,430

資料：各市村調（平成14年5月1日現在）

(4) 高等学校、短期大学

3市村内では、石狩市及び浜益村に道立高校が3校設置されています。
また、石狩市には私立女子短期大学が1校設置されています。

表 43 高等学校

単位：校、学級、人

	石 狩 市		浜 益 村
	石狩翔陽	石 狩 南	浜 益
学 校 数	25	29	3
学 級 数	940	1,140	46
生 徒 数	85	73	19
教 職 員 数			

資料：各市村調（平成14年5月1日現在）

表 44 短期大学

単位：人

		石 狩 市
大 学 名		藤女子大学
学 生 数		240
学 部 ・ 学 科	人 間 生 活	80
	食 品 栄 養	80
	保 育	80

資料：各市村調（平成14年5月1日現在）

(5) 生涯学習

3市村の生涯学習に関して、コミュニティセンター、公民館など、文化関連施設は26ヶ所、体育館、野球場等スポーツ関連施設は44ヶ所となっています。文化、スポーツ関連を合わせた施設数では全体の6割近くが石狩市内に設置されていますが、施設区分によっては、3市村間で設置状況に差異があります。

表 45 主な文化関連施設の設置状況

施設区分	石狩市		厚田村		浜益村		3市村計 (箇所数)
	箇所数	施設名	箇所数	施設名	箇所数	施設名	
コミュニティセンター、 総合センター等	3	花川北コミュニティセンター 花川南コミュニティセンター 八幡コミュニティセンター	2	総合センター 交流センターみなくる	1	交流センターきらり	6
公民館 (分館を含む。)	5	石狩市公民館 南線分館 志美分館 美登位分館 樽川分館	-		-		5
研修センター等	6	高岡ふれあい研修センター 北生振ふれあい研修センター 五の沢ふれあい研修センター 生振ふれあい研修センター 美登位創作の家 石狩自然の家	-		1	ふるさと塾	7
図書館 (分館・図書室を含む。)	4	市民図書館 花川北分館 花川南分館 八幡分館	1	図書室 (総合センター内)	1	図書室 (交流センター内)	6
資料館等	-		1	郷土資料室	1	郷土資料館	2
合計	18		4		4		26

資料：各市村調（平成15.4.1現在）

表 46 主なスポーツ関連施設の設置状況

施設区分	石狩市		厚田村		浜益村		3市村計 (箇所数)
	箇所数	施設名	箇所数	施設名	箇所数	施設名	
体育館等	2	勤労者総合スポーツ施設 B & G 海洋センター	1	山村スポーツセンター	1	総合スポーツセンター	4
野球場 (ソフトボール球場含む。)	5	樽川公園 若葉公園 青葉公園 紅葉山公園 花川南公園	-		-		5
陸上競技場等 (サッカー場、多目的 グラウンド等を含む。)	3	青葉公園 スポーツ広場	-				3
テニスコート	6	樽川公園(4面) 若葉公園(1) 青葉公園(8) 紅葉山公園(4) 花川南公園(2) 紅葉山南公園(4) 計 23 面	1	厚田公園(2面)	1	集会施設併設(1面)	8
プール	2	市民プール B & G 海洋センター	1	山村スポーツセンター	-		3
ゲートボール場	2	花川南コミュニティパーク (2面) 紅葉山南公園(2)	7	集会施設併設 6箇所(7面) 厚田公園(1面)	3	集会施設等併設 3箇所 (4面)	12
パークゴルフ場 (ミニパークゴルフ場含む。)	3	花川南コミュニティパーク 紅南公園 緑苑台パークゴルフ場	1	厚田公園	1	浜益温泉公園	5
スキー場	-		1	厚田村スキー場	1	村民スキー場	2
キャンプ場	-		1	厚田公園	1	浜益海浜公園	2
合計	23		13		8		44

資料：各市村調(平成15.4.1現在)

8 福祉・医療

(1) 保育園（所）

3市村の保育園（所）の数は、公設、民間をあわせて石狩市8ヶ所、厚田村3ヶ所、浜益村1ヶ所の合計12ヶ所です。

そのうち、厚田村及び浜益村については全てへき地保育所となっています。3市村の就学前児童の総数に対し、20.6%の入所率となっています。

公設保育所における保育料金の状況は、石狩市では世帯の所得者に応じた19階層区分が設定されています。2村については、それぞれ厚田村が一律月額10,000円、浜益村が同じく6,500円となっています。

表 47 就学前児童、保育所入所児童など

単位：人、所、%

	石狩市	厚田村	浜益村	3市村計
就学前児童数	2,715	106	82	2,903
公設保育園（所）数	5	3	1	9
うちへき地保育所数	2	3（うち休止1）	1	6
民間保育園（所）数	3	-	-	3
合計	8	3	1	12

入所児童数	499	53	46	598
就学前児童数に対する入所児童数の割合（%）	18.4	50.0	56.1	20.6

資料：各市村調（平成14年4月1日現在 但し就学前児童数は平成13年10月1日現在）

表 48 保育料徴収基準額（月額）

石狩市

単位：円

各月初日の入所児童の 属する世帯の階層区分		一般保育料基準額（円）		母子世帯等又は在宅障害児(者) のいる世帯の保育料基準額(円)		
階層 区分	定義	3歳未満児	3歳児	4歳以上児	3歳未満児	3歳以上児
A	生活保護法（昭和25年法律第144号） による被保護世帯（単給世帯を含む。）	-	-	-	-	-
B	A階層及びD階層 を除き、前年度分 の市町村 民税の額 の区分が 次の区分 に該当す る世帯	5,600	3,800	3,800	-	-
C1	均等割の額のみ の世帯	12,900	10,200	10,200	11,900	9,200
C2	所得割の額 5,000円未 満世帯	15,700	12,800	12,800	14,700	11,800
C3	所得割の額 5,000円以 上世帯	16,700	13,700	13,700	15,700	12,700
D1	8,000円未 満	20,200	17,400	17,400	一般保育料基準額と同額	
D2	8,000円以 上 16,000 円未満	21,300	18,600	18,600		
D3	16,000円 以上 28,0 00円未満	22,800	20,000	20,000		
D4	28,000円 以上 40,0 00円未満	26,300	24,000	24,000		
D5	40,000円 以上 52,0 00円未満	28,300	25,400	25,400		
D6	52,000円 以上 64,0 00円未満	29,900	27,000	27,000		
D7	64,000円 以上 76,0 00円未満	34,500	31,900	29,000		
D8	76,000円 以上 100,0 00円未満	36,600	33,600	29,500		
D9	100,000円 以上 112,0 00円未満	42,400	35,400	30,700		
D10	112,000円 以上 136,0 00円未満	45,800	35,800	30,800		
D11	136,000円 以上 160,0 00円未満	48,700	36,700	31,100		
D12	160,000円 以上 256,0 00円未満	57,500	37,000	31,400		
D13	256,000円 以上 408,0 00円未満	62,100	37,800	32,200		
D14	408,000円 以上	67,000	37,900	32,200		

石狩市（へき地保育所）

保 育 料	12,000円
-------	---------

厚田村（へき地保育所）

保 育 料	10,000円
-------	---------

浜益村（へき地保育所）

保 育 料	6,500円
-------	--------

資料：各市村調（平成14年）

(2) 国民健康保険

3市村の国民健康保険の加入者数は増加傾向にあります。また、平成13年度における、石狩市の加入割合は被保険者で29.3%ですが、厚田村は50.5%、浜益村は51.5%となっており、石狩市に比べて2村の加入割合が高い傾向を示しています。

表 49 国民健康保険の加入状況

単位：人、世帯、%

	年度	各年度末住民基本台帳		加入 被保険者数	加入世帯数	加入割合		世帯当たり 被保険者数
		総人口	総世帯数			被保険者	世帯	
石狩市	平成9年度	54,155	18,870	12,831	6,168	23.7	32.7	2.1
	平成10年度	54,638	19,313	13,796	6,628	25.2	34.3	2.1
	平成11年度	55,103	19,783	14,751	7,166	26.8	36.2	2.1
	平成12年度	55,323	20,253	15,498	7,685	28.0	37.9	2.0
	平成13年度	55,526	20,765	16,280	8,240	29.3	39.7	2.0
厚田村	平成9年度	3,105	1,190	1,579	687	50.9	57.7	2.3
	平成10年度	3,086	1,192	1,595	552	51.7	46.3	2.9
	平成11年度	3,005	1,202	1,501	659	50.0	54.8	2.3
	平成12年度	2,992	1,229	1,503	675	50.2	54.9	2.2
	平成13年度	2,949	1,241	1,490	673	50.5	54.2	2.2
浜益村	平成9年度	2,528	1,056	1,091	520	43.2	49.2	2.1
	平成10年度	2,401	1,046	1,123	536	46.8	51.2	2.1
	平成11年度	2,356	1,031	1,140	549	48.4	53.2	2.1
	平成12年度	2,310	1,013	1,155	564	50.0	55.7	2.0
	平成13年度	2,293	1,021	1,180	590	51.5	57.8	2.0
3市村計	平成9年度	59,788	21,116	15,501	7,375	25.9	34.9	2.1
	平成10年度	60,125	21,551	16,514	7,716	27.5	35.8	2.1
	平成11年度	60,464	22,016	17,392	8,374	28.8	38.0	2.1
	平成12年度	60,625	22,495	18,156	8,924	29.9	39.7	2.0
	平成13年度	60,768	23,027	18,950	9,503	31.2	41.3	2.0

資料：各市村調、住民基本台帳（各年度末現在）

図 20 国民健康保険加入状況の推移（3市村合計）

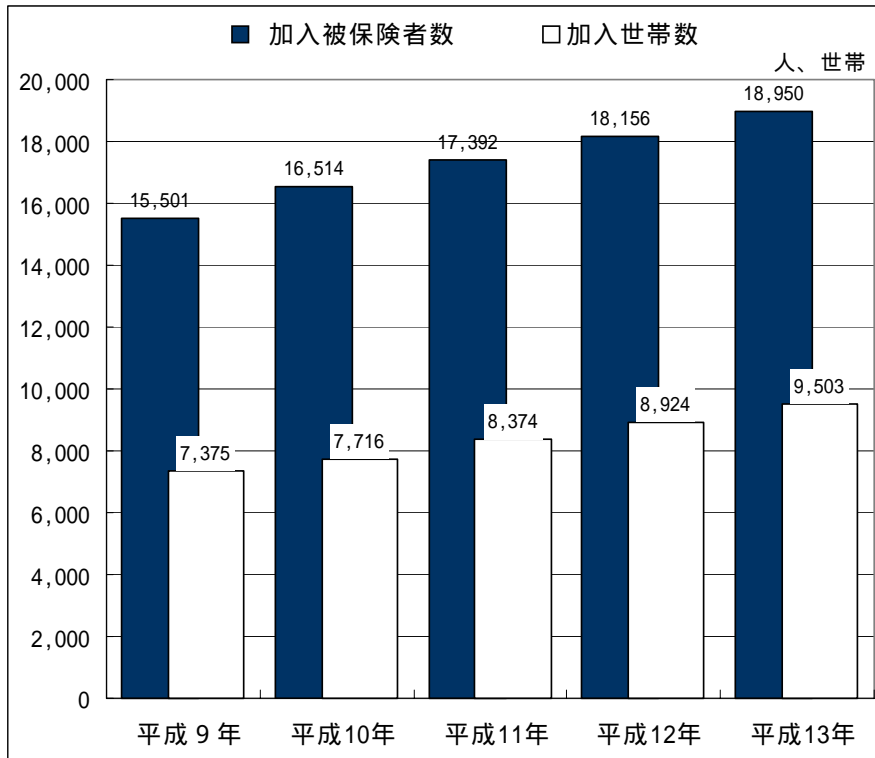


表 50 国民健康保険会計の決算状況

単位：千円

	年度	歳入総額	歳出総額	収支差引	一般会計繰入金
石狩市	平成9年度	3,216,076	3,345,717	129,641	331,095
	平成10年度	3,334,049	3,502,810	168,761	355,346
	平成11年度	3,585,136	3,790,579	205,443	348,678
	平成12年度	3,758,152	3,973,763	215,611	404,539
	平成13年度	3,998,601	4,441,842	443,241	402,589
厚田村	平成9年度	445,648	428,353	17,295	109,230
	平成10年度	525,770	497,324	28,446	123,230
	平成11年度	455,580	443,948	11,632	76,400
	平成12年度	313,004	312,397	607	20,000
	平成13年度	358,803	340,334	18,469	68,120
浜益村	平成9年度	325,154	330,622	5,468	33,902
	平成10年度	288,403	309,832	21,429	34,596
	平成11年度	288,385	300,218	11,833	44,369
	平成12年度	299,264	324,136	24,872	35,685
	平成13年度	312,940	325,551	12,611	39,564
3市村計	平成9年度	3,986,878	4,104,692	117,815	474,227
	平成10年度	4,148,222	4,309,966	161,744	513,172
	平成11年度	4,329,101	4,534,745	205,644	469,447
	平成12年度	4,370,420	4,610,296	239,876	460,224
	平成13年度	4,670,344	5,107,727	437,383	510,273

資料：地方財政状況調査

(3) 国民年金

国民年金の適用状況は、3市村の合計で平成13年度、17,260人となっています。

表 51 国民年金の加入状況

単位：人、%

	被保険者別の種別	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	
石狩市	各年度末人口	54,155	54,638	55,103	55,323	55,526	
	強制	第1号	7,610	7,925	8,229	8,875	9,288
		第3号	6,895	6,870	6,784	6,621	6,457
	任意	153	147	149	151	167	
	計	14,658	14,942	15,162	15,647	15,912	
	人口に対する適用被保険者の割合	27.1	27.4	27.5	28.3	28.7	
厚田村	各年度末人口	3,105	3,086	3,005	2,992	2,949	
	強制	第1号	642	645	607	589	616
		第3号	217	206	197	190	184
	任意	4	7	6	8	8	
	計	863	858	810	787	808	
	人口に対する適用被保険者の割合	27.8	27.8	27.0	26.3	27.4	
浜益村	各年度末人口	2,528	2,401	2,356	2,310	2,293	
	強制	第1号	455	384	390	375	392
		第3号	175	167	153	147	144
	任意	11	7	10	4	4	
	計	641	558	553	526	540	
	人口に対する適用被保険者の割合	25.4	23.2	23.5	22.8	23.5	
3市村計	各年度末人口	59,788	60,125	60,464	60,625	60,768	
	強制	第1号	8,707	8,954	9,226	9,839	10,296
		第3号	7,287	7,243	7,134	6,958	6,785
	任意	168	161	165	163	179	
	計	16,162	16,358	16,525	16,960	17,260	
	人口に対する適用被保険者の割合	27.0	27.2	27.3	28.0	28.4	

資料：各市村調、住民基本台帳

表 52 年金受給の状況(人数)

単位：人

		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
石狩市	老 齡	1,308	1,250	1,212	1,173	1,121
	老齡基礎	2,632	3,082	3,562	4,100	4,588
	通算老齡	693	693	674	681	667
	障害基礎	411	443	474	507	549
	障 害	66	64	59	55	53
	遺族基礎	125	128	147	138	151
	その他	10	13	15	11	7
	計	5,245	5,673	6,143	6,665	7,136
厚田村	老 齡	376	355	335	339	297
	老齡基礎	268	293	337	365	373
	通算老齡	31	29	26	6	27
	障害基礎	18	19	21	24	25
	障 害	15	13	13	12	12
	遺族基礎	6	3	5	6	5
	その他	3	4	4	4	-
	計	717	716	741	756	739
浜益村	老 齡	476	447	423	394	365
	老齡基礎	318	359	395	435	456
	通算老齡	19	19	19	19	19
	障害基礎	3	2	2	2	2
	障 害	28	25	21	21	20
	遺族基礎	5	5	5	3	3
	その他	7	5	4	5	6
	計	856	862	869	879	871
3市村計	老 齡	2,160	2,052	1,970	1,906	1,783
	老齡基礎	3,218	3,734	4,294	4,900	5,417
	通算老齡	743	741	719	706	713
	障害基礎	432	464	497	533	576
	障 害	109	102	93	88	85
	遺族基礎	136	136	157	147	159
	その他	20	22	23	20	13
	計	6,818	7,251	7,753	8,300	8,746

資料：各市村調

表 53 年金受給の状況(金額)

単位：千円

		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
石狩市	老 齢	658,695	641,416	625,340	605,739	580,791
	老齢基礎	1,676,562	2,011,312	2,349,514	2,712,713	3,040,349
	通算老齢	159,400	161,325	158,429	159,218	155,094
	障害基礎	368,913	402,857	433,391	462,695	497,648
	障 害	57,568	56,595	52,706	48,685	46,645
	遺族基礎	98,809	105,397	121,212	114,381	122,094
	その他	5,346	6,775	7,927	5,692	3,254
	計	3,025,293	3,385,677	3,748,519	4,109,123	4,445,875
厚田村	老 齢	180,100	173,434	163,691	155,888	146,246
	老齢基礎	184,263	203,841	239,411	263,655	271,074
	通算老齢	7,764	7,714	6,975	6,977	7,234
	障害基礎	16,359	16,940	19,439	21,852	22,656
	障 害	13,943	12,192	12,264	11,460	11,460
	遺族基礎	4,606	3,658	3,680	4,484	3,679
	その他	1,565	2,134	2,095	2,095	1,491
	計	408,600	419,913	447,555	466,411	463,840
浜益村	老 齢	274,394	236,942	227,241	211,748	196,933
	老齢基礎	227,762	264,303	295,323	327,359	343,401
	通算老齢	5,156	5,247	5,277	5,278	5,278
	障害基礎	2,583	1,599	1,608	1,608	1,608
	障 害	24,351	21,787	18,956	18,095	17,291
	遺族基礎	4,056	4,118	4,142	2,303	2,303
	その他	4,437	2,656	2,180	2,625	3,176
	計	542,739	536,652	554,727	569,016	569,990
3市村計	老 齢	1,113,189	1,051,792	1,016,272	973,375	923,970
	老齢基礎	2,088,587	2,479,456	2,884,248	3,303,727	3,654,824
	通算老齢	172,320	174,286	170,681	171,473	167,606
	障害基礎	387,855	421,396	454,438	486,155	521,912
	障 害	95,862	90,574	83,926	78,240	75,396
	遺族基礎	107,471	113,173	129,034	121,168	128,076
	その他	11,348	11,565	12,202	10,412	7,921
	計	3,976,632	4,342,242	4,750,801	5,144,550	5,479,705

資料：各市村調

(4) 病院

平成13年10月1日現在における3市村の医療施設の状況は、病院²²数6院、一般診療所²³数28院、歯科診療所の24箇所となっています。病床総数（ベッド数）は772床で、3市村域では1医療施設当たり、人口1,068人、1病床数当たり79人となっています。北海道の平均（1医療施設当たり826人、1病床当たり47人）を上回っています。

なお、公設の一般診療所としては、厚田村及び浜益村にそれぞれ1院づつ国民健康保険診療所が設置されていましたが、そのうち厚田村国保診療所については、平成15年4月から、民間医療法人の運営となっています。

表 54 医療施設の状況

単位：院（所）、床

	施設総数	病床総数	病院		一般診療所		歯科診療所	
			総数	病床数	総数	病床数	総数	病床数
石狩市	52	764	6	663	24	101	22	-
厚田村	3	2	-	-	3	2	1	-
浜益村	2	6	-	-	1	6	1	-
3市村計	57	772	6	663	28	109	24	-
北海道	6,909	120,520	638	107,453	3,334	13,049	2,937	18

資料：平成13年北海道保健統計年報（平成13年10月1日現在）

表 55 医療施設、病床に対する人口の状況

単位：人

	人口 (H13.9.30)	1医療施設当たり人口	1病床当たり人口
石狩市	55,578	1,069	73
厚田村	2,979	993	1,490
浜益村	2,312	1,156	385
3市村計	60,869	1,068	79
北海道	5,707,654	826	47

資料：平成13年北海道保健統計年報（平成13年10月1日現在）、住民基本台帳（平成13年9月30日現在）

²² 病院 病院とは、医師又は歯科医師が、医業又は歯科医業を行う場所であって、20人以上の患者を入院させるための施設を有するものをいう。

²³ 一般診療所 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く。）であって、患者の収容施設を有しないもの又は患者19人以下の収容施設を有するものをいう。

(5) 福祉

高齢者福祉

3市村の主な高齢者福祉施策は、次表のとおりとなっています。また主要施設として3市村内に10ヶ所の高齢者福祉施設が設置されています。

表 56 主な高齢者福祉施策

項 目	石狩市	厚田村	浜益村
ホームヘルパー派遣事業		-	
デイサービス訪問事業		-	-
寝たきり老人福祉手当		-	-
ショートステイ、ミドルステイ事業		-	
老人日常生活用具給付事業			
生活支援サービス (緊急通報、除雪サービス他)			
高齢者祝金制度			-
高齢者クラブ等助成事業			
敬老会支援事業			
シルバー人材センター運営支援事業			-
高齢者等給食サービス			

資料：各市村調（平成14年）

表 57 主要施設

石狩市	厚田村	浜益村
<ul style="list-style-type: none">・総合保健福祉センター「りんくる」・石狩希及の園・ホットライン 21・花川南デイサービスセンター・老人保健施設「オアシス 21」	<ul style="list-style-type: none">・在宅介護支援センター・特別養護老人ホーム「厚田みよし園」	<ul style="list-style-type: none">・高齢者生活福祉センター（在宅介護支援センター）・特別養護老人ホーム「はまますあいどまり」・高齢者グループホーム「はまますなごみ」

資料：各市村調（平成14年）

障害者福祉

表 58 主な障害者福祉施策

項 目	石狩市	厚田村	浜益村
身体障害者関係団体への助成			
知的障害者地域生活援助事業（グループホーム）			-
民間施設に対する補助事業等			-
ハンディキャップ軽減に関する事業（補装具、更生医療の給付等）			
日常生活に関する支援事業 （福祉手当、日常生活用具の給付、自動車改造費等の助成他）			
ホームヘルパー派遣事業		-	-

資料：各市村調（平成14年）

表 59 主要施設

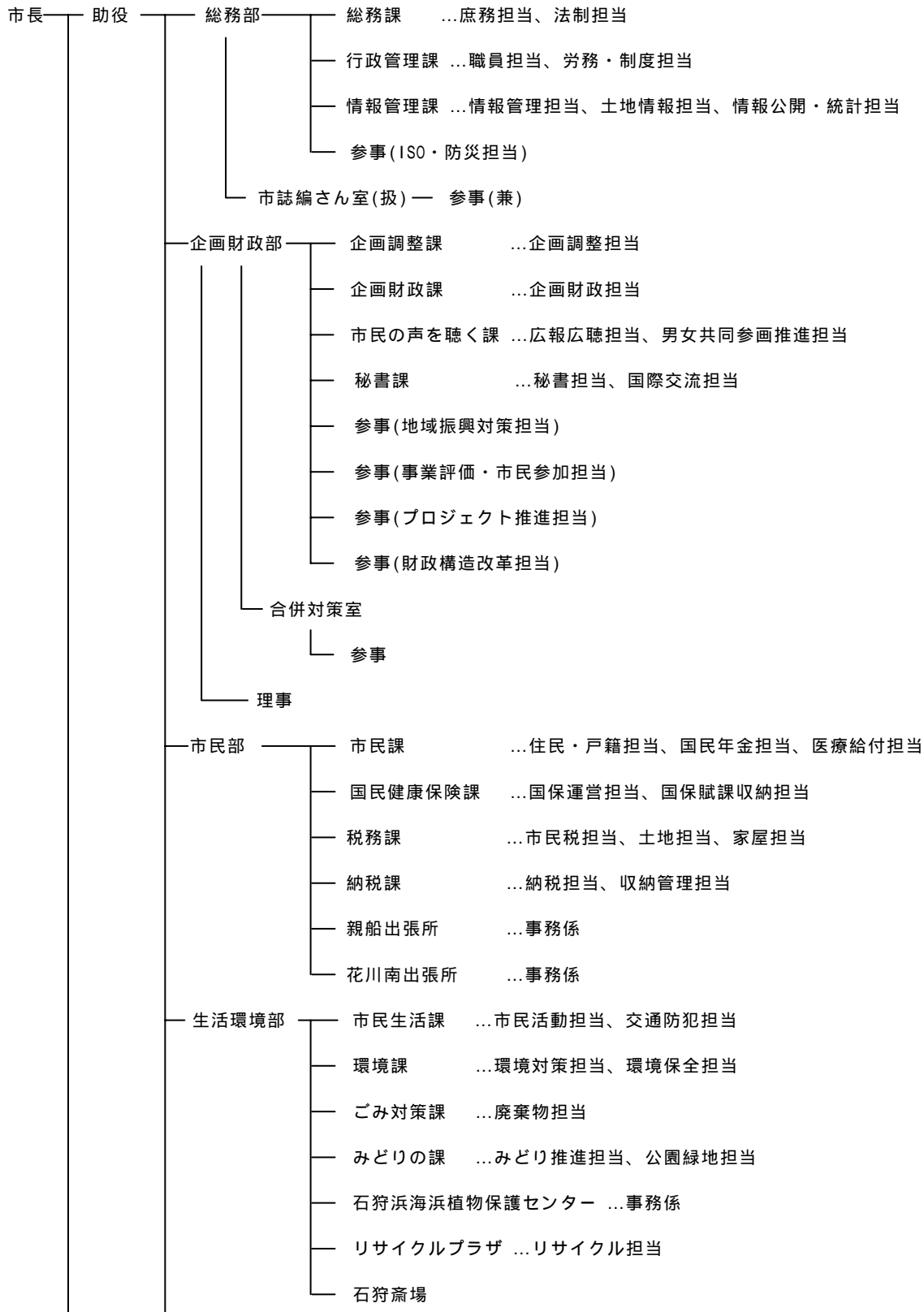
石狩市	厚田村	浜益村
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生振の里 （知的障害者施設） ・ ワークセンター・ポロレ （知的障害者授産施設） ・ あらいぶ （知的障害者デイサービスセンター） ・ タンポポのはら、石狩はまなす館 （知的障害者地域共同作業所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚田はまなす園 （知的障害者更生施設） 	なし

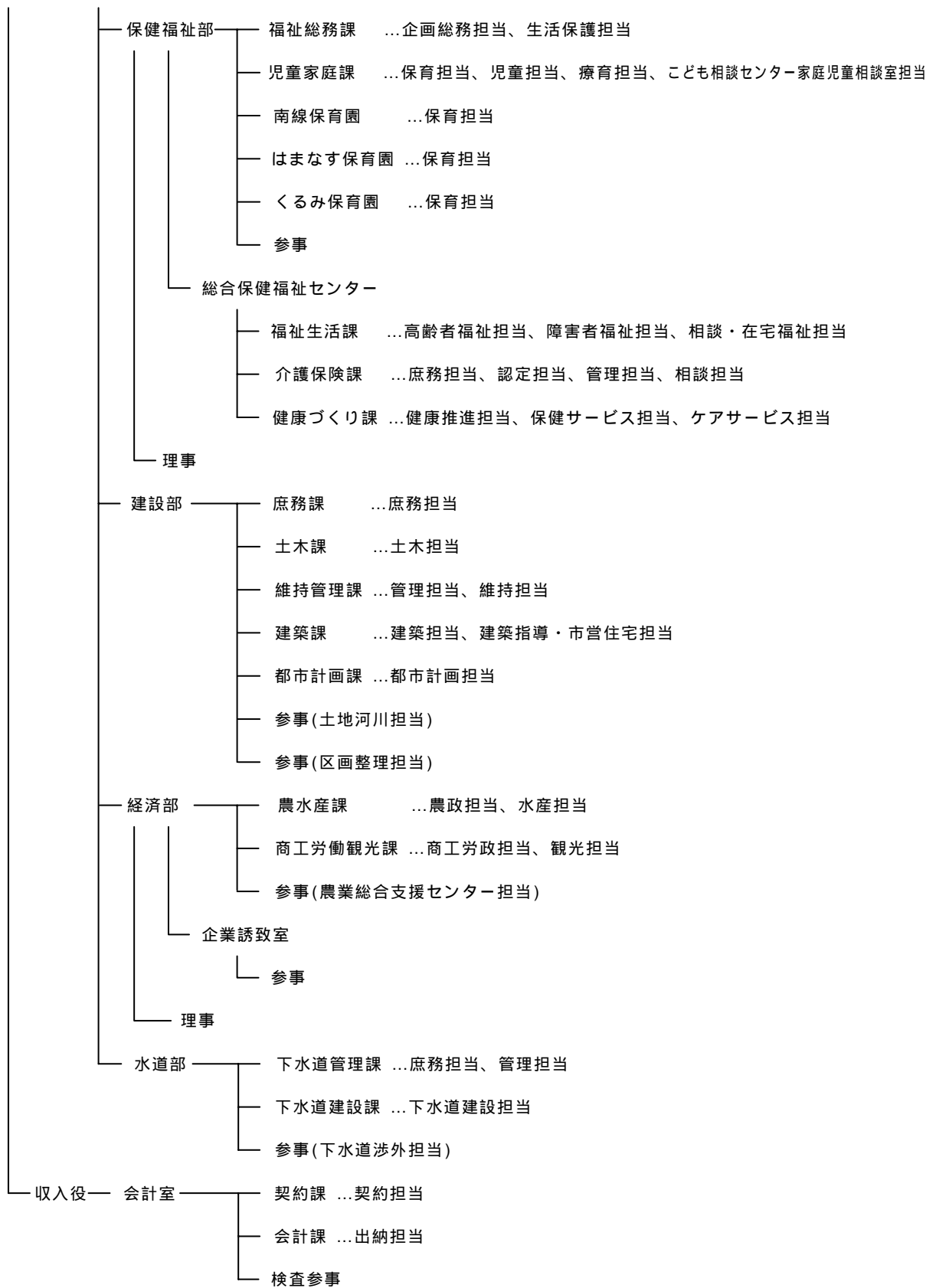
資料：各市村調（平成14年）

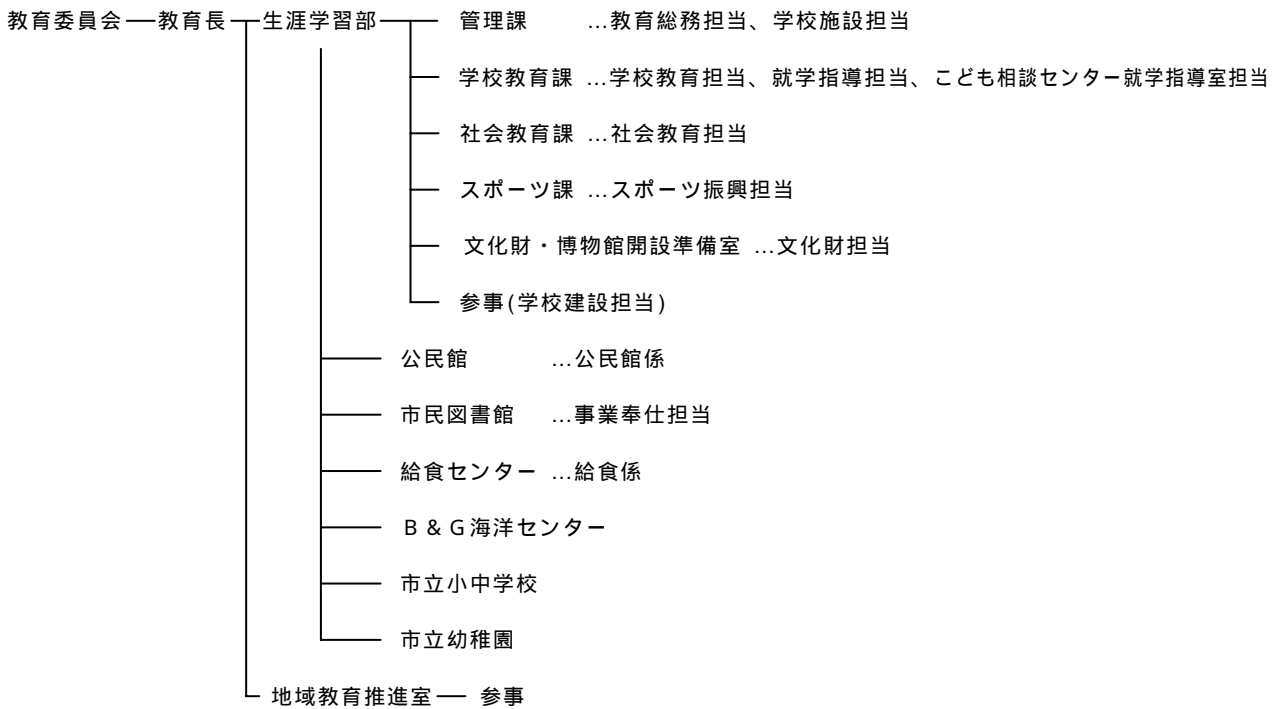
9 行政

(1) 組織機構

図 21 石狩市







議会 ————— 事務局 ...議会担当

選挙管理委員会 ————— 事務局 ...選挙係

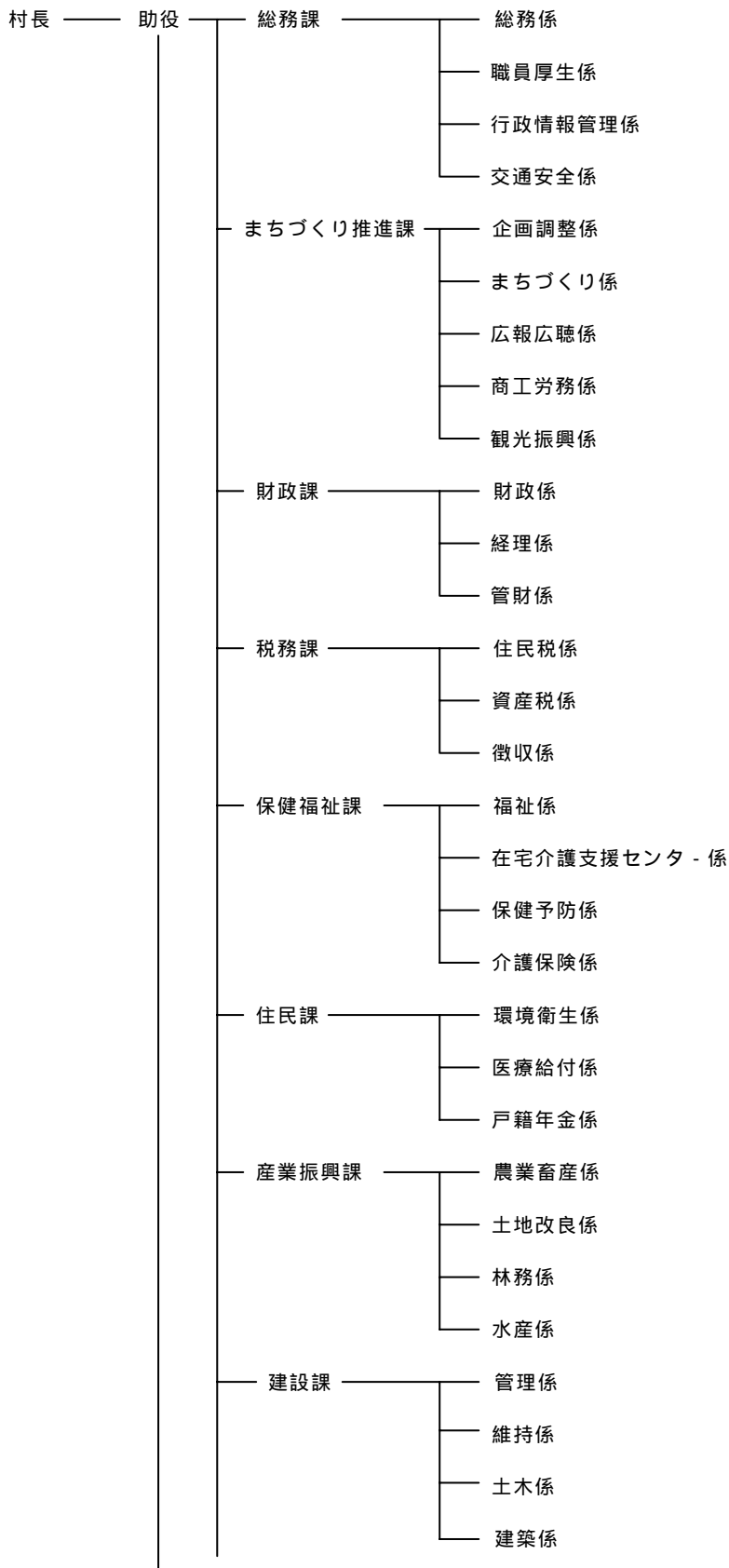
監査委員 ————— 事務局

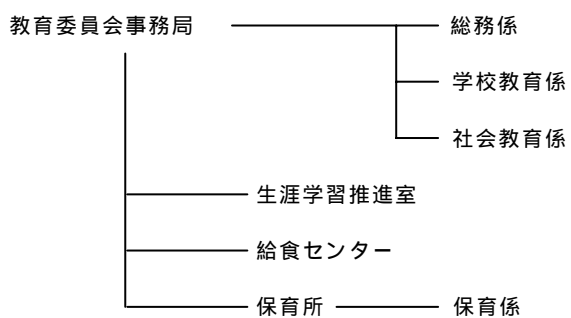
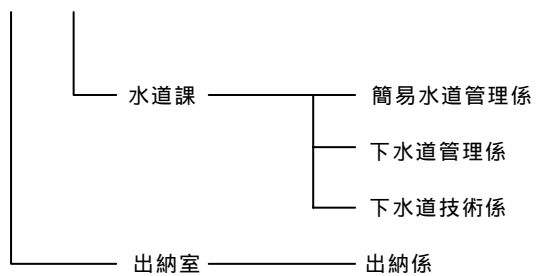
公平委員会 ————— 事務局

農業委員会 ————— 事務局
 参事

水道事業 ———— 水道部 ———— 業務課 ...総務係、営業係
 工務課 ...上水道整備担当
 浄水場 ...浄水担当

図 22 厚田村





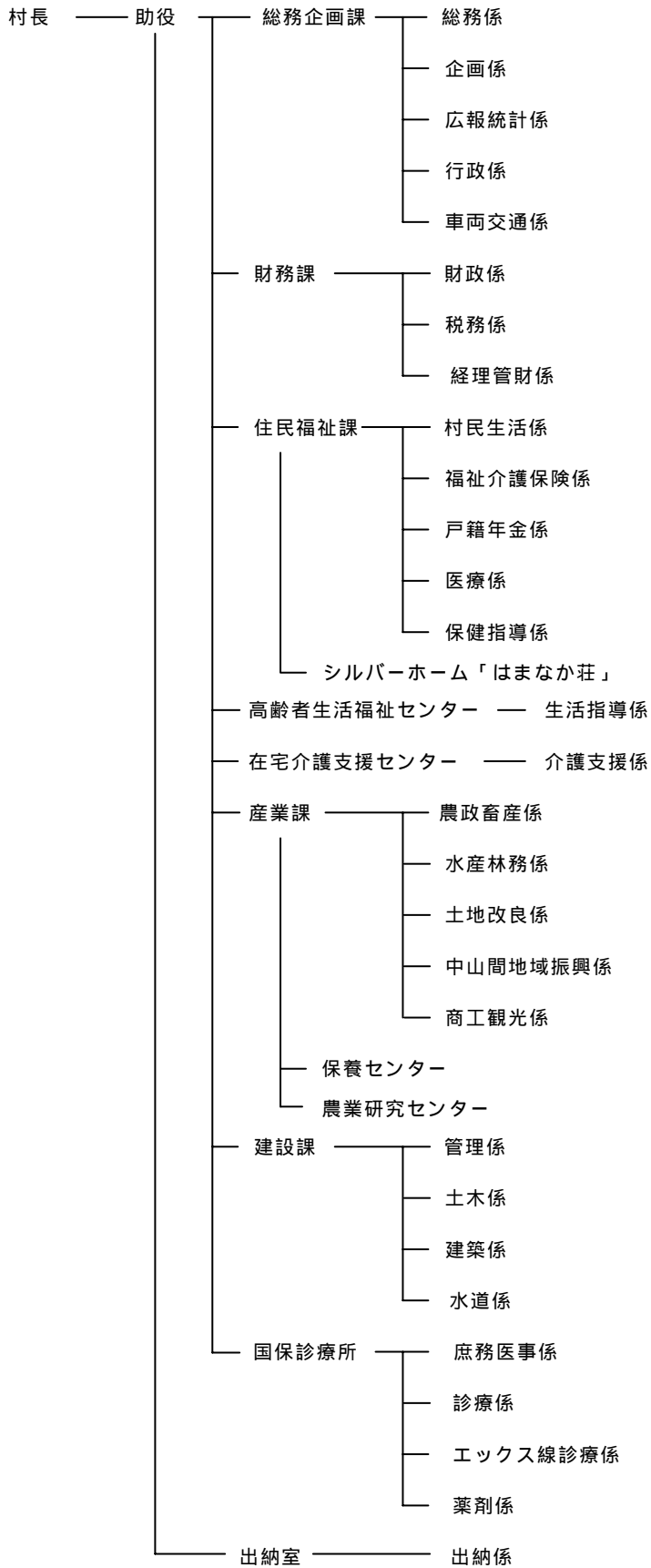
議会事務局 ————— 議事係

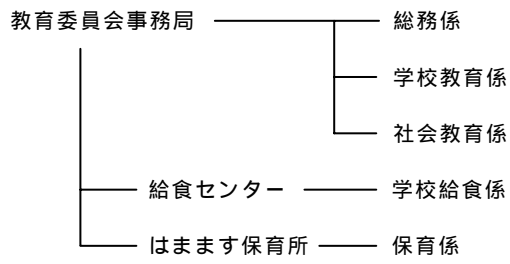
農業委員会事務局 ————— 事務係

選挙管理委員会事務局 ————— 書記

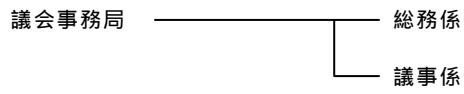
監査委員事務局 ————— 書記

図 23 浜益村





農業委員会事務局 ————— 農地振興係



監査委員事務局 ————— 監査係

選挙管理委員会事務局 ————— 選挙係

表 60 議会議員定数

単位:人

区 分	石狩市	厚田村	浜益村
法定定数	30	14	14
条例定数	26	12	12

資料：各市村調（平成15年1月1日現在）

表 61 職員数

単位:人

区 分	石狩市	厚田村	浜益村
市長部局、村長部局	350	65	66
教育委員会	58	11	11
水道事業	28	-	-
議会事務局	5	2	2
選挙管理委員会事務局	3	1	(3)
監査委員事務局	3	(2)	(2)
農業委員会事務局	2	2	2
合 計	449	81	81

資料：各市村調（平成14年4月1日現在）

注1：教育委員会には、教育委員会に属する学校職員を含む。

注2：()内は兼務者につき合計には含めない。

(2) 財政

平成12年度の3市村の経常収支比率は、石狩市が91.2%、厚田村が84.3%、浜益村が86.6%です。財政力指数については、石狩市が高く0.638となっています。他の2村は厚田村0.157、浜益村0.119となっております。公債費比率は、石狩市は17.9%、浜益村は19.0%と高い数値を示しています。

表 62 3市村の財政規模及び主要指標 (平成13年度)

単位：千円、%

項目	石狩市	厚田村	浜益村
歳入総額	26,964,305	3,625,499	2,729,759
歳出総額	26,760,714	3,568,877	2,652,648
地方債現在高	27,573,087	3,460,594	3,286,012
積立金現在高	1,630,109	914,060	369,355
地方税決算額	7,951,724	254,828	155,998
歳入総額に地方税が占める割合(%)	29.5	7.0	5.7
地方交付税決算額	4,356,481	2,058,868	1,587,484
普通交付税決定額	3,766,379	1,839,219	1,368,158
基準財政需要額 ²⁴ (a)	10,400,772	2,178,031	1,554,444
基準財政収入額 ²⁵ (b)	6,626,689	337,199	185,135
交付基準額 (a)-(b)	3,774,083	1,840,832	1,369,309
特別交付税決定額	590,102	219,649	219,326
歳入総額に地方交付税が占める割合(%)	16.2	56.8	58.2
標準財政規模 ²⁶	12,492,406	2,268,659	1,606,547
財政力指数 ²⁷ (3ヵ年平均)	0.638	0.157	0.119
経常収支比率 ²⁸	91.2	84.3	86.6
公債費比率 ²⁹	17.9	10.3	19.0
起債制限比率 ³⁰ (3ヵ年平均)	12.9	5.7	13.8

資料：平成13年度決算状況調、地方交付税算定台帳

- ²⁴ 基準財政需要額 普通交付税算定上、地方公共団体が合理的かつ妥当な水準の行政を行い、又は施設を維持するために必要な財政需要を、各行政項目ごとに算定した額の合算をいう。各行政項目ごとの基準財政需要額は、次の算式により算定される。
 基準財政需要額 = 単位費用 × (測定単位の数値 × 補正係数)
- ²⁵ 基準財政収入額 普通交付税算定上、地方公共団体の財政力を合理的に算定するために当該地方公共団体について一定の方式で算定した額で、地方公共団体が、通常標準的に徴収しうるのであると考えられる税収入のうち基準財政需要額として算定された標準的な財政支出に対する財政収入として充てられるべき額を算定するもの。市町村の額は次のアからオまでの合算額。
 ア 基準税率(75/100)をもって算定した法定普通税の収入見込額
 イ 娯楽施設利用税交付金及び自動車取得税交付金の収入見込額の75/100の額
 ウ 特別とん譲与税、地方道路譲与税、自動車重量譲与税及び航空機燃料譲与税の収入見込額
 エ 基準率(75/100)をもって算定した交付金法による市町村交付金及び納付金の収入見込額
 オ 道路交通法による交通安全対策特別交付金の収入見込額
- ²⁶ 標準財政規模 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模で、標準的な行政活動を行うために必要な経常一般財源の総量を示すものであり、財政分析や財政運営の指標の算出に利用されることが多い。
- ²⁷ 財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指標として用いられるもので、普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3年間の平均値。1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされる。

表 63 人口 1 人当たりの財政規模（平成13年度）

単位：人、円

項目	石狩市	厚田村	浜益村
人口(H14.3.31)	55,526	2,949	2,293
歳入総額	485,616	1,229,399	1,190,475
歳出総額	481,949	1,210,199	1,156,846
地方債現在高	496,580	1,173,481	1,433,062
積立金現在高	29,358	309,956	161,079
地方税	143,207	86,412	68,032
地方交付税	78,458	698,158	692,317
普通交付税	67,831	623,675	596,667
特別交付税	10,627	74,483	95,650

資料：住民基本台帳、平成13年度決算状況調、地方交付税算定台帳

²⁸ 経常収支比率 地方公共団体の経常的経費（人件費、物件費、公債費などのうち臨時的なものを除いた経費）のために経常的な一般財源がどれだけ充用されたかを示す比率で、当該地方公共団体の経常的な一般財源の硬直性、あるいは余裕度を示すものであり、財政構造の良否を判断する指標に使われる。従来は、普通 70～80% に分布するのが標準的とされ、80% を著しく超える地方公共団体は財政構造が硬直化しているとされていた。

²⁹ 公債費比率 公債費の増加が、将来の住民の負担を強いることとなり、かつ、財政構造の弾力性を圧迫することとなることにかんがみ、経常一般財源総額に占める公債費の一般財源所要額をみようとすものである。次の算式により求められる。

$$\frac{A - (B + C)}{(D - C)}$$

A：当該年度の普通会計にかかる元利償還金
 B：元利償還金に充てられた特定財源
 C：普通交付税の基準財政需要額に算入された公債費
 D：当該年度の標準財政規模

³⁰ 起債制限比率 次の算式による比率の過去 3 年度間の平均が 20% 以上の団体について、原則として一定の地方債の発行を許可しないものとされており（地方債許可方針）この比率を起債制限比率という。

$$\frac{A - (B + C + E)}{D - (C + E)}$$

E：普通地方交付税の基準財政需要額に事業費補正によって算入された公債費

表 64 3市村の決算状況（平成13年度）

単位：千円、%

歳入	石狩市	構成比	厚田村	構成比	浜益村	構成比
総額	26,964,305	100.0	3,625,499	100.0	2,729,759	100.0
1. 地方税	7,951,724	29.5	254,828	7.0	155,998	5.7
2. 地方譲与税	308,340	1.1	59,094	1.6	24,444	0.9
3. 利子割交付金	222,078	0.8	8,367	0.2	7,060	0.3
4. 地方消費税	494,802	1.8	25,048	0.7	22,601	0.8
5. ゴルフ場利用税交付金	69,802	0.3	62,595	1.7	-	-
6. 特別地方消費税交付金	-	-	-	-	-	-
7. 自動車取得税交付金	126,935	0.5	25,516	0.7	10,363	0.4
8. 軽油引取税交付金	-	-	-	-	-	-
9. 地方特例交付金	163,581	0.6	4,890	0.1	5,741	0.2
10. 地方交付税	4,356,481	16.2	2,058,868	56.8	1,587,484	58.2
11. 交通安全対策特別交付金	14,378	0.1	1,178	0.0	708	0.0
12. 分担金及び負担金	102,656	0.4	7,395	0.2	2,052	0.1
13. 使用料	143,294	0.5	32,318	0.9	71,099	2.6
14. 手数料	39,924	0.1	2,237	0.1	2,146	0.1
15. 国庫支出金	1,435,762	5.3	81,144	2.2	122,405	4.5
16. 国有提供施設等所在助成金	3,320	0.0	-	-	-	-
17. 道支出金	1,095,232	4.1	184,785	5.1	190,377	7.0
18. 財産収入	40,108	0.1	15,568	0.4	31,107	1.1
19. 寄付金	893	0.0	1,170	0.0	2,100	0.1
20. 繰入金	629,164	2.3	142,300	3.9	144,003	5.3
21. 繰越金	240,133	0.9	81,414	2.2	51,006	1.9
22. 諸収入	7,611,998	28.2	64,484	1.8	21,965	0.8
23. 地方債	1,913,700	7.1	512,300	14.1	277,100	10.2
24. 特別区財政調整交付金	-	-	-	-	-	-

歳出	石狩市	構成比	厚田村	構成比	浜益村	構成比
総額	26,760,714	100.0	3,568,877	100.0	2,652,648	100.0
1. 人件費	3,765,315	14.1	730,985	20.5	694,408	26.2
2. 物件費	2,639,941	9.9	294,436	8.3	214,090	8.1
3. 維持補修費	718,539	2.7	159,564	4.5	44,810	1.7
4. 扶助費	1,569,325	5.9	35,680	1.0	48,651	1.8
5. 補助費等	3,203,361	12.0	721,930	20.2	301,595	11.4
6. 公債費	2,791,461	10.4	517,613	14.5	508,430	19.2
7. 積立金	96,134	0.4	30,830	0.9	14,583	0.5
8. 投資及び出資金・貸付金	7,468,586	27.9	22,300	0.6	6,000	0.2
9. 繰出金	1,862,719	7.0	625,294	17.5	216,973	8.2
10. 前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	-
11. 投資の経費	2,645,333	9.9	430,245	12.1	603,108	22.7

資料：地方財政状況調（平成13年度）

(3) 税制度、手数料

表 65 市村税率

		石狩市	厚田村	浜益村
市村民税 (個人)	均等割 人口区分で、年額3,000、 2,500、2,000円	2,500円	2,000円	
	所得割 標準税率 ³¹ ：課税所得の段階 区分で3、8、10%	200万円以下の金額 3/100 200万円を超える金額 8/100 700万円を超える金額 10/100	200万円以下の金額 3/100 200万円を超える金額 8/100 700万円を超える金額 10/100	200万円以下の金額 3/100 200万円を超える金額 8/100 700万円を超える金額 10/100
市村民税 (法人)	均等割 標準税率：法人等の区分(資本 等の金額、従業員数) に応じて9段階(年額5 ~300万円) 制限税率 ³² ：標準税率の各区分 ごとにそれぞれ1.2 倍(年額6~360万円)	制限税率		
	法人割 標準税率：12.3% 制限税率：14.7%	制限税率		
固定資産税 標準税率：1.4% 制限税率：2.1%		標準税率		
軽自動車税 標準税率：原付、軽自動車、小型2輪の 区分で1,000円~7,200円		標準税率		
市町村たばこ税 標準税率：2,668円/千本、1,266円/千本 (旧3級品の紙巻たばこ)		標準税率		
特別土地保有税		保有分：1.4%、取得分：3.0%		
都市計画税		0.3%	-	
入湯税 標準税率：入湯客1人1日につき150円		標準税率	-	

表 66 主な手数料

単位：1通(又は1件)当たり円

項 目	単 位	石狩市	厚田村	浜益村
戸籍謄本・抄本	1 通	450	450	450
除籍謄本・抄本	1 通	750	750	750
身分に関する証明	1 件	350	350	300
住民票の写し	1 通	250	250	300
印鑑登録証明	1 通	350	350	300
土地、家屋の評価に関する証明	1 筆、1 棟	350	300	350
租税又は公課に関する証明	1 通	350	500	350

資料：各市村調(平成14年)

³¹標準税率 地方公共団体が課税する場合に通常よるべき税率で、財政上の特別の必要があるときはこれによることを要しない税率。

³²制限税率 標準税率を超える税率で課する場合において、超えることができない税率。

10 広域行政の状況

(1) 広域圏組合

現在3市村は、札幌広域圏組合（構成市町村：札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・厚田村・浜益村の石狩管内10市町村）に参加しています。

札幌広域圏組合では、広域振興計画の策定や連絡調整のほか、独自の基金（札幌ふるさと市町村圏基金）を設置し、その運用益を活用して構成市町村の協力のもと、圏域全体にかかわる共同ソフト事業を行っています。

組合の基金は、平成8年度と9年度の2カ年で15億円が造成されています。現在進められているソフト事業は、図書館情報ネットワーク事業、職員研修・研究事業、地域情報化に関する事業、圏域交流促進事業、圏域振興プロジェクト事業となっています。

基金の造成における構成市町村の出資割合等は、次のとおりとなっています。

表 67 札幌ふるさと市町村圏基金

単位:千円

区 分	負 担 額		備 考
構成市町村の 負担	札幌市	911,600	均等割 20% 人口割 50% 財政割 30%
	江別市	80,700	
	千歳市	67,900	
	恵庭市	56,700	
	北広島市	52,300	
	石狩市	52,100	
	当別町	38,700	
	新篠津村	30,400	
	厚田村	30,000	
	浜益村	29,600	
	計	1,350,000	
北海道からの補助金	150,000	基金設置額の1割	
基金造成額合計	1,500,000	平成8・9年度の 2ヶ年で造成	

(2) 一部事務組合

一部事務組合

札幌広域圏組合をはじめ、ごみ・し尿処理、消防、上水道事業、教育関連事業など、広域にわたる事務事業について、次のとおり一部事務組合が設置されています。

表 68 一部事務組合の設置状況

組合の名称	共同処理事務の内容	構成市町村	事務所の位置
札幌広域圏組合	1. 広域市町村圏計画に関する事務 2. 広域市町村圏の振興整備に伴う連絡調整、調査、研究等に関する事務 3. ふるさと市町村圏基金の運用により実施する事業に関する事務	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村	札幌市中央区
北石狩衛生施設組合	し尿、ごみ処理に関する事務、野犬処理事業	石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村	厚田村
石狩北部地区消防事務組合	消防に関する事務	石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村	当別町
石狩西部広域水道企業団	水道用水供給事業の経営に関する事務	北海道、札幌市、小樽市、石狩市、当別町	札幌市中央区
石狩湾新港管理組合	石狩湾新港の管理に関する事務	北海道、小樽市、石狩市	石狩市
恵庭青年の家組合	教育機関としての青年の家の管理に関する事務	恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村	恵庭市
石狩教育研修センター組合	教育に関する研修及び調査研究、その他地域住民に対する教育の普及に関する事務	江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村	北広島市

機関の共同設置

地方自治法の規定に基づき、地方公共団体の機関を簡素化し、経費の節約を図り合理的な行政運営を確保することを目的として、3市村に係る2つの機関が共同設置されています。

表 69 機関の共同設置状況

機関の名称	担当事務	構成市町村等	幹事団体
北石狩公平委員会	公平委員会事務	石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村、石狩北部地区消防事務組合、北石狩衛生施設組合	石狩市
石狩地区介護認定審査会	介護認定審査会事務	石狩市、厚田村、浜益村	石狩市

資料 人口の将来見通し

(1) 人口

人口の推計には、厚生労働省社会保障・人口問題研究所による推計方法により、平成42年（2030年）の時点の合計特殊出生率を仮定した上で、コーホート要因法³³で推計します。

3市村の合計特殊出生率は、平成12年（2000年）時点で石狩市（1.41：人口問題研究所による推計値）、厚田村（1.38）、浜益村（1.41）となっており、推計にあたっては、今後、平成42年度（2030年）までこの出生率を維持するものと仮定して算出します。

年齢5歳階級別推計結果

表 70 人口の見通し（3市村合計）

単位：人

区分 年齢階級	国勢調査人口		将来推計人口					
	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
総数	57,706	59,734	61,896	64,224	66,106	67,027	66,903	65,967
0-4歳	2,445	2,368	2,561	2,601	2,417	2,122	1,897	1,828
5-9	3,273	2,853	2,814	3,033	3,084	2,867	2,520	2,257
10-14	4,399	3,467	3,079	3,022	3,266	3,323	3,091	2,717
15-19	4,886	4,260	3,405	3,016	2,967	3,215	3,275	3,047
20-24	3,818	3,996	3,548	2,813	2,495	2,455	2,664	2,714
25-29	2,773	3,490	3,697	3,260	2,588	2,288	2,245	2,433
30-34	2,935	3,176	4,058	4,274	3,764	2,983	2,648	2,602
35-39	3,397	3,364	3,715	4,726	4,987	4,394	3,476	3,101
40-44	5,088	3,581	3,593	3,944	5,019	5,297	4,665	3,688
45-49	6,172	5,171	3,691	3,680	4,043	5,143	5,424	4,775
50-54	4,254	6,170	5,250	3,726	3,716	4,081	5,186	5,459
55-59	3,381	4,266	6,281	5,306	3,765	3,754	4,125	5,245
60-64	3,070	3,460	4,433	6,488	5,480	3,889	3,874	4,255
65-69	2,754	3,026	3,459	4,407	6,453	5,452	3,867	3,850
70-74	2,087	2,602	2,904	3,302	4,215	6,185	5,230	3,711
75-79	1,468	1,895	2,392	2,661	3,032	3,876	5,698	4,820
80-84	926	1,239	1,620	2,029	2,269	2,593	3,327	4,902
85歳以上	578	939	1,395	1,933	2,546	3,108	3,695	4,562
不詳	2	411						

四捨五入により合計は合わない。

³³ コーホート要因法 ある年齢集団に生存率と純移動率を掛け合わせるにより、その年代の将来人口を推計することとし、これをすべての年齢集団ごとに積みあげることにより全体の人口を推計する方法。コーホートとは、ある一定期間に出生した集団を意味し、例えば、ある地域における20～24歳人口は、5年後に25～29歳となり、その集団の人口は死亡数と移動数によって変化することとなる。この変化率をもとにすれば将来の予測が可能となる。

表 71 石狩市（合計特殊出生率：1.41）

単位：人

区 分 年齢階級	国勢調査人口		将来推計人口					
	平成 7 年 (1995)	平成 12 年 (2000)	平成 17 年 (2005)	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)
総数	52,209	54,567	57,071	59,748	61,973	63,230	63,444	62,849
0-4 歳	2,260	2,217	2,442	2,493	2,323	2,046	1,841	1,786
5-9	2,999	2,687	2,676	2,925	2,986	2,782	2,451	2,205
10-14	4,109	3,228	2,935	2,902	3,172	3,238	3,017	2,657
15-19	4,623	4,044	3,227	2,909	2,878	3,145	3,211	2,991
20-24	3,604	3,812	3,385	2,682	2,415	2,391	2,613	2,667
25-29	2,558	3,252	3,492	3,078	2,438	2,196	2,173	2,375
30-34	2,668	2,946	3,805	4,056	3,575	2,830	2,554	2,525
35-39	3,152	3,103	3,485	4,471	4,768	4,203	3,323	3,007
40-44	4,750	3,330	3,327	3,707	4,756	5,071	4,470	3,535
45-49	5,774	4,813	3,425	3,397	3,786	4,857	5,179	4,565
50-54	3,875	5,732	4,851	3,427	3,398	3,786	4,857	5,178
55-59	2,973	3,901	5,859	4,921	3,476	3,447	3,840	4,926
60-64	2,633	3,057	4,071	6,072	5,103	3,605	3,574	3,978
65-69	2,248	2,604	3,069	4,056	6,051	5,088	3,594	3,562
70-74	1,675	2,146	2,524	2,951	3,898	5,822	4,902	3,464
75-79	1,157	1,539	1,996	2,331	2,725	3,597	5,379	4,535
80-84	724	1,000	1,346	1,726	2,017	2,356	3,107	4,656
85 歳以上	425	745	1,154	1,643	2,209	2,771	3,361	4,235
不詳	2	411						

四捨五入により合計は合わない。

表 72 厚田村（合計特殊出生率：1.38）

単位：人

区 分 年齢階級	国勢調査人口		将来推計人口					
	平成 7 年 (1995)	平成 12 年 (2000)	平成 17 年 (2005)	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)
総数	2,947	2,804	2,656	2,504	2,349	2,183	2,002	1,813
0-4 歳	125	87	74	73	69	59	44	33
5-9	183	111	78	67	65	62	53	40
10-14	181	155	94	66	57	55	53	45
15-19	138	139	119	72	51	44	43	41
20-24	138	117	118	100	61	42	36	35
25-29	135	161	137	138	118	72	50	43
30-34	171	127	152	129	130	111	68	48
35-39	150	168	129	153	130	131	111	68
40-44	206	144	161	122	145	123	124	105
45-49	233	209	145	163	125	149	126	127
50-54	188	243	218	151	170	131	156	132
55-59	204	182	235	211	146	164	127	151
60-64	199	199	179	229	205	143	160	122
65-69	231	196	196	176	225	202	141	157
70-74	161	207	175	176	159	202	181	127
75-79	119	151	192	162	163	149	187	167
80-84	109	97	123	153	128	131	123	149
85 歳以上	76	111	131	163	202	211	220	224
不詳	-	-						

四捨五入により合計は合わない。

表 73 浜益村（合計特殊出生率：1.41）

単位：人

区 分 年齢階級	国勢調査人口		将来推計人口					
	平成 7 年 (1995)	平成 12 年 (2000)	平成 17 年 (2005)	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)
総数	2,550	2,363	2,169	1,972	1,784	1,614	1,457	1,305
0-4 歳	60	64	45	35	25	17	12	9
5-9	91	55	60	41	33	23	16	12
10-14	109	84	50	54	37	30	21	15
15-19	125	77	59	35	38	26	21	15
20-24	76	67	45	31	19	22	15	12
25-29	80	77	68	44	32	20	22	15
30-34	96	103	101	89	59	42	26	29
35-39	95	93	101	102	89	60	42	26
40-44	132	107	105	115	118	103	71	48
45-49	165	149	121	120	132	137	119	83
50-54	191	195	181	148	148	164	173	149
55-59	204	183	187	174	143	143	158	168
60-64	238	204	183	187	172	141	140	155
65-69	275	226	194	175	177	162	132	131
70-74	251	249	205	175	158	161	147	120
75-79	192	205	204	168	144	130	132	118
80-84	93	142	151	150	124	106	97	97
85 歳以上	77	83	110	127	135	126	114	103
不詳	-	-						

四捨五入により合計は合わない。

(2) 世帯数

世帯数の推計は、平成 7 年以降の国勢調査の結果をもとに、最小二乗法による傾向線のあてはめ（トレンド法）により推計します。現実的な予測値の平均により世帯数の推計値とします。

表 74 世帯数の見通し

単位：世帯

区 分	平成 7 年 (1995)	平成 12 年 (2000)	平成 17 年 (2005)	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)	
予 測 値	分 数			24,522	27,199	29,863	32,513	35,150	37,775
	対 数			24,540	27,237	29,928	32,612	35,289	37,960
	ロジステ イックス			22,966	23,652	24,026	24,225	24,330	24,385
推計結果	18,642	20,811	24,009	26,030	27,939	29,784	31,590	33,373	

実績値 ← → 推計値

ここまでの結果から、平成42年までの5年ごとの人口・世帯数の見通しは次表のとおりとなります。

表 75 人口、世帯数の推移

単位：人、%

区 分	平成 12 年 (2000)	平成 17 年 (2005)	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)
総 人 口	59,734	61,896	64,224	66,106	67,027	66,903	65,967
年少人口 (0～14歳)	8,688	8,454	8,656	8,767	8,312	7,508	6,802
生産年齢人口 (15～64歳)	40,934	41,671	41,233	38,824	37,499	37,582	37,319
老年人口 (65歳以上)	9,701	11,770	14,332	18,515	21,214	21,817	21,845
高齢者比率	16.2	19.0	22.3	28.0	31.6	32.6	33.1
世 帯 数	20,811	24,009	26,030	27,939	29,784	31,590	33,373
1世帯数当り人口	2.87	2.58	2.47	2.37	2.25	2.12	1.98

実績値 ← | → 推計値

(3) 就業者人口

就業者総数の推計

平成7年から平成12年の間、就業者の総人口に対する割合の年平均伸び率（0.239%）により、平成17年以降、5年ごとの就業率の推計結果に基づいて、各年の総人口に対する就業者数を推計します。

表 76 就業者総数の見通し

単位：人、%

区 分	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
総人口に対する割合(%)	47.49	48.06	48.64	49.22	49.81	50.41	51.02	51.63
総人口	57,706	59,734	61,896	64,224	66,106	67,027	66,903	65,967
就業者総数	27,406	28,707	30,106	31,611	32,927	33,788	34,134	34,059

実績値 ← | → 推計値

平成7,12年の就業者総数には分類不能の産業を含む。

第1次産業

次に第1次産業の就業者人口を平成7年から平成12年の国勢調査の結果をもとに、年平均伸び率（1.593%）により推計します。

表 77 第1次産業就業者数の見通し

単位：人

区 分	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
就業者総数	27,406	28,707	30,106	31,611	32,927	33,788	34,134	34,059
第1次産業人口	1,724	1,591	1,468	1,355	1,250	1,154	1,065	983

実績値 ← | → 推計値

平成7,12年の就業者総数には分類不能の産業を含む。

第2次産業

第2次産業の就業者人口を平成2年から平成12年の国勢調査の結果をもとに、トレンド法により推計します。次の6つの数式により仮定値を求め、そのうち最大と最小を除いた数値の平均により推計値とします。

表 78 第2次産業就業者数の見通し

単位：人

区 分	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	
数 式	1次				8,531	9,031	9,530	10,030	10,529	11,029
	分数				8,528	9,022	9,513	10,002	10,489	10,973
	指数				8,616	9,226	9,878	10,577	11,326	12,128
	対数				8,530	9,026	9,522	10,016	10,509	11,001
	ロジスティックス				8,233	8,410	8,529	8,608	8,661	8,695
	べき乗				8,614	9,220	9,867	10,558	11,295	12,081
第2次産業人口	6,817	7,964	7,816	8,551	9,075	9,608	10,152	10,706	11,271	

実績値 ← | → 推計値

数値は全て理論値

第3次産業

で得た、各年の就業者総数の推計結果から、
、
で得た第1次産業、第2次産業の就業者人口を差し引いて、第3次産業の推計値とします。

表 79 第3次産業就業者数の見通し

単位：人

区 分	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
就業者総数	27,406	28,707	30,106	31,611	32,927	33,788	34,134	34,059
第1次産業 就業者人口	1,724	1,591	1,468	1,355	1,250	1,154	1,065	983
第2次産業 就業者人口	7,964	7,816	8,551	9,075	9,608	10,152	10,706	11,271
第3次産業 就業者人口	17,518	18,596	20,087	21,181	22,069	22,482	22,363	21,805

実績値 ← | → 推計値

平成7,12年の就業者総数には分類不能の産業を含む。

以上の結果から、平成42年までの5年ごとの就業者の見通しは、次表のとおりとなります。

表 80 就業者人口の推移（3市村合計）

単位：人、%

区 分	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
総人口	57,706	59,734	61,896	64,224	66,106	67,027	66,903	65,967
就業者総数	27,406	28,707	30,106	31,611	32,927	33,788	34,134	34,059
第1次産業	1,724	1,591	1,468	1,355	1,250	1,154	1,065	983
（比率）	(6.3)	(5.5)	(4.9)	(4.3)	(3.8)	(3.4)	(3.1)	(2.9)
第2次産業	7,964	7,816	8,551	9,075	9,608	10,152	10,706	11,271
（比率）	(29.1)	(27.2)	(28.4)	(28.7)	(29.2)	(30.0)	(31.4)	(33.1)
第3次産業	17,518	18,596	20,087	21,181	22,069	22,482	22,363	21,805
（比率）	(63.9)	(64.8)	(66.7)	(67.0)	(67.0)	(66.5)	(65.5)	(64.0)

実績値 ← | → 推計値

平成7,12年の就業者総数には分類不能の産業を含む。